



# タイにおけるリハビリ人材を介した販売拡大実証調査事業

報告書  
令和5年3月

コンソーシアム名	タイにおけるリハビリ人材を介した販売拡大実証調査コンソーシアム
代表団体	株式会社 松永製作所
参加団体	株式会社 Kitahara Medical Strategies International (KMSI) / Matsunaga (Thailand) Co., Ltd. / KAIGOLife Co., Ltd.

# 目次

Contents		Page
本補助事業活動のアウトライン		3
I.	事業構想・計画 概要	5
II.	当事業実施にあたり期待される効果	11
III.	本年度補助事業活動計画	16
IV.	本年度補助事業活動報告	21
V.	本補助事業活動の考察	42
VI.	今後の展望（本補助事業後の活動計画）	52
VII.	調査結果詳細	56
VIII.	Appendix その他附録資料	79
二次利用未承諾リスト		112

## 本補助事業活動のアウトライン

- 事業名：タイにおけるリハビリ人材を介した販売拡大実証調査事業
- コンソーシアム名：タイにおけるリハビリ人材を介した販売拡大実証調査コンソーシアム
- 代表団体：株式会社 松永製作所
- 参加団体：株式会社 Kitahara Medical Strategies International (KMSI) / Matsunaga (Thailand) Co., Ltd. / KAIGOLife Co., Ltd.
- 協力団体：タイ保健省・タイ教育省・EEC / タイ商工会議所 / 在泰日本国大使館 / 一般社団法人 日本福祉用具・生活支援用具協会 (JASPA) / JASPA会員企業 (シコク社など) / 医療法人社団 KNI / Senior Healthcare Service and Trade Association (SHSTA) / Universal Design Center/ Chersery Nursing Home
- 事業概要：
  - (ア) タイのセラピストの車椅子製品理解向上と新規販売経路の開拓 (セラピストの質の向上)
  - (イ) JASPA会員でタイ未進出の企業・製品のタイでの需要調査
  - (ウ) タイのセラピストの数を増やすためにタイ保健省が実施する「リハビリ総合人材「准」理学作業療法士 (仮称) の教育システム構築」のロードマップ策定に参画

タイ

## タイにおけるリハビリ人材を介した販売拡大実証調査事業

コンソーシアム名	タイにおけるリハビリ人材を介した販売拡大実証調査コンソーシアム
代表・申請団体	株式会社 松永製作所
参加団体	株式会社 Kitahara Medical Strategies International (KMSI) / Matsunaga (Thailand) Co., Ltd. / KAIGO Life Co., Ltd.
協力団体	タイ保健省・タイ教育省・EEC / タイ商工会議所 / 在タイ日本国大使館 / 一般社団法人 日本福祉用具・生活支援用具協会 (JASPA) / JASPA会員企業 (シコク社など) / 医療法人社団 KNI / Senior Healthcare Service and Trade Association (SHSTA) / Universal Design Center / Chersery Nursing Home



## 事業の背景・目的・概要

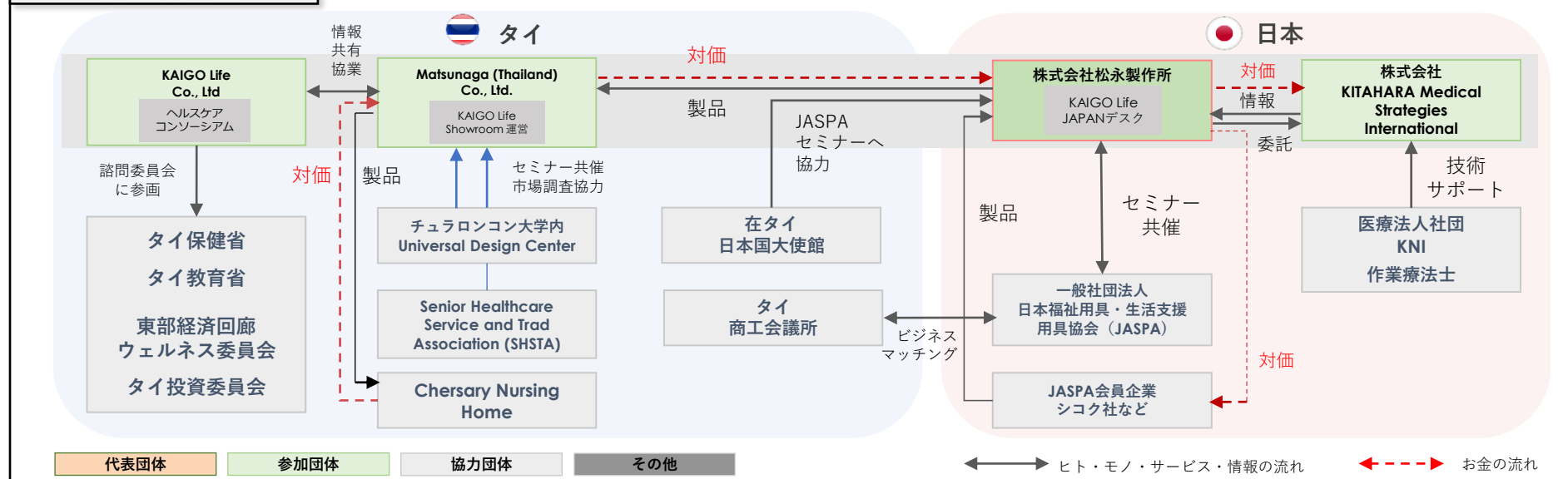
【背景】タイにおけるリハビリ人材の不足、介護に際する自宅環境改修がなされていないこと  
 【目的】セラピストの質の向上が、日本式福祉用具の販売促進に繋がるかの実証調査  
 【本年度補助事業の概要】

- タイのセラピストの車椅子製品理解向上と新規販売経路の開拓（セラピストの質の向上）
- JASPA会員でタイ未進出の企業・製品のタイでの需要調査
- タイのセラピストの数を増やすためにタイ保健省が実施する「リハビリ総合人材「准」理学作業療法士（仮称）の教育システム構築」のロードマップ策定に参画

## 本年度補助事業での活動内容

- セラピスト紹介販売スキーム
- 「車椅子再発見プロジェクト」タイ版の実施
- タイのセラピストにおける日本の福祉用具に関する需要調査
- ビジネスマッチング（JASPA会員企業・タイ商工会議所保健衛生委員会）
- 民間病院・高齢者施設リハ室向け展示会実施（日本人セラピストによるセミナー併設）
- タイ保健省の理学療法士委員会への参加
- 日本の介護現場でセラピストが果たす役割のセミナー

## 事業スキーム



I.

# 事業構想・計画 概要

## 全体要旨

- 「タイのセラピストの質を上げることが、代表団体独自の、姿勢保持及び自立走行補助機能に特化した日本式福祉用具の販売促進に繋がるか」という課題に対する実証調査を行う。
- 高齢者の生活環境整備のため、住宅改修機器を扱う株式会社シコクなど、日本福祉用具・生活支援用具協会（JASPA）の会員で海外展開をしていない企業のタイ進出の契機となり得るかの実証調査を行う。
  - JASPA会員企業の課題である海外進出について、リハビリ人材が福祉用具を選定する際に関与することが、日本の知見に基づいた高付加価値商品を展開していくために重要であり進出の環境整備に繋がると期待できる。
- 人材不足の課題に対してセラピストの数を増やすことを目的に、タイに日本式セラピスト短期人材育成プログラム（案）を作成し、導入が可能かの実証調査を行う。
- これらの活動を通してタイ健康寿命の延伸・介護予防に日本式セラピスト輩出が貢献するものと考えている。同時に、日本と同様の福祉機器の選定ができるリハビリ人材の教育実施と教育を受けた人材との協業によって車椅子の販売促進体制が構築できるかを調査する。

## 事業背景、対象国の課題・ニーズ

- タイでは、介護保険の未整備やセラピストの人材不足により、患者の身体機能を重視し、車いすなど福祉用具の効果的な活用が図れず、価格のみで選定される傾向にあり、セラピストは車いす等福祉用具に関する知識を十分保有していない。
  - 理学療法士は人口1万人当たり16名（日本：262名）、作業療法士は人口1万人当たり0.18名（日本：188名）と極めて少ない。また、都市部への偏在が見られる。
  - タイ保健省はセラピストの人材不足に対して、現在の4年制大学教育が必要な資格制度に対して短期で取得可能な「准」理学作業療法士（仮称）<sup>\*1</sup>の育成検討を開始している。
- 日本のリハビリサービスは理学療法士や作業療法士などセラピストのアドバイスという点で優位性がある。また、参加団体である株式会社KMSIは回復期リハで高いシェアを持ち、現地に対して付加価値の高いサービスを提供可能である。
- 日本の福祉用具業界団体（JASPA）では、今後は日本の市場拡大は見込めず、市場の国際化が必要であると認識している。
- これらの課題解決のため、セラピストの車いす製品への理解向上、JASPA会員企業のビジネス拡大、リハビリ総合人材育成の3点を推進する。

<sup>\*1</sup> 「准」理学作業療法士：人手不足の解決策として、現在の4年制大学教育が必要な資格制度に対して、短期で取得可能な理学療法士の仮称であり、タイ保健省の指導のもと定義されたもの。

# 事業目的

## 1. 日本式福祉用具の販売促進に繋がるかの実証調査


- 「タイのセラピストの質を上げることが、代表団体独自の、姿勢保持及び自立装甲補助機能に特化した日本式福祉用具の販売促進に繋がるか」という課題に対する実証調査を行う。

## 2. 海外展開をしていない企業の進出の契機となりうるかの実証調査

- 高齢者の生活環境整備のため、住宅改修機器を扱う株式会社シコクなど、日本福祉用具・生活支援用具協会（JASPA）の会員で海外展開をしていない企業のタイ進出の契機となり得るかの実証調査を行う。
- 需要調査で需要のあった製品についてビジネスマッチングを実施する。

## 3. タイに日本式セラピスト\*1短期人材育成プログラム（案）を作成、導入可否の実証調査

- セラピストの数を増やすことを目的に、タイに日本式セラピスト短期人材育成プログラム（案）を作成し、導入が可能かの実証調査を行う。



これらの活動を通して、タイにおける健康寿命の延伸・介護予防に日本式セラピスト輩出が貢献するものと考えている。

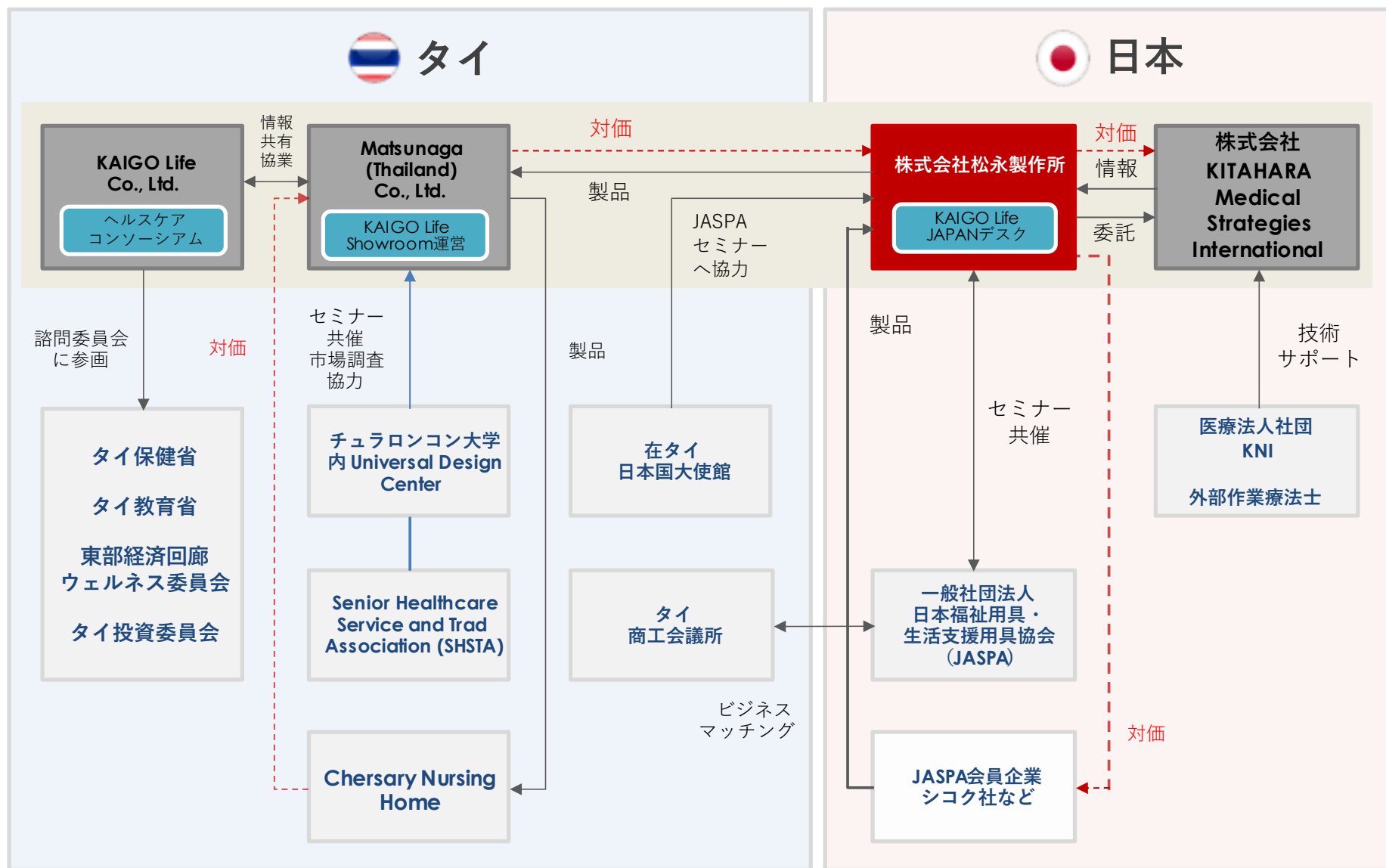
（タイの現状比較）

- ➡ タイにおいては、裕福層による訪問・在宅支援サービスを除いては、外来や通所のためのリハビリが一般的であり、部分的なサービス提供となっているのが現状である。

\*1「日本式セラピスト」：術後から退院、その後、外来、介護施設、特に、通所や訪問などの在宅支援サービスまで一貫した個々の日常生活へ戻れるリハビリテーションを提供可能なセラピストを指す。



# 事業スキーム・体制図



代表団体

参加団体

協力団体

その他

予定団体

ヒト・モノ・サービス・  
情報の流れ

対価  
お金の流れ

# 事業スケジュール

- 当事業は23年3月に実証実験を完了し、23年以降に本格的な事業化を見込んでいる。
- 24年にはベトナム、カンボジアへの横展開を目指し、アジアにおける広域でのシェア拡大を見込む。

	2022年							2023年		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ア-① セラピスト販売スキームの確立	実施									
ア-② 車椅子再発見プロジェクトのタイ版実施		準備	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
イ-① セラピスト向けの福祉用具需要調査					実施					
イ-② JASPA企業とのビジネスマッチング		セミナー			セミナー		準備	実施		
イ-③ 民間病院・施設向け展示会実施					準備	実施	実施			
ウ-① タイ保健省理学療法士委員会への参画	実施									
ウ-② タイ保健省向けセラピストの役割セミナー					準備		実施	実施	実施	
報告書作成	実施									

II.

当事業実施にあたり  
期待される効果

## 普及が見込まれる製品・サービス

### 日本の福祉用具企業の新規進出・販売拡大

- “福祉用具企業”と“医療機関等のリハビリ部門”の協業により販売拡大を実現する。そのビジネスモデルはベトナムなど周辺国へ水平展開するためのベースとなる。

姿勢保持機能に特化した車椅子 ネクストコアシリーズ	自立走行のサポート機能に特化した車椅子 グレイスコアシリーズ
	

### 日本の福祉用具の付加価値向上

- JASPA会員企業の課題である海外進出について、リハビリ人材が福祉用具を選定する際に関与し、日本の知見に基づいた高付加価値商品を展開していく環境整備に繋げる。

### 日本のリハビリ教育・クリニックの新規進出

- タイ保健省とリハビリ人材教育システムのロードマップ策定に参画することで、将来的にリハビリ教育機関やクリニックの進出可能性を拡大する。

## 実施相手国の裨益（1/3）

### （ア）日本式福祉用具の販売促進に繋がるかの実証調査

#### ■ タイのセラピストの質の向上

- 代表団体独自の、姿勢保持及び自立走行補助機能に特化した機能性の高い日本式福祉用具に対して、タイのセラピストへの製品理解の機会を設けることで、セラピストの知識の向上に寄与する。
- タイのセラピストに対して、利用者に適した車椅子の選び方とその重要性の啓発を行うことで、セラピストの質の向上に寄与する。

#### ■ 治療の質の向上

- 上記の通り、タイのセラピストが、福祉用具機能に関する知識、及び、利用者に適した車椅子の選び方とその重要性を理解することで、患者へ提供する治療の質の向上が期待される。

#### ■ 住宅改修の契機提供

- タイにおける住宅向け福祉用具の市場拡充が、結果的にタイにおける住宅改修や環境整備の契機の一つとなり、タイの在宅介護サービスの拡充に寄与できる。

## 実施相手国の裨益（2/3）

### （イ）海外展開をしていない企業の進出の契機となりうるかの実証調査

#### ■ 患者への選択肢の拡大

- 従来の製品に加え、新たな日本式福祉用具が加わることにより、患者の選択肢の幅が増える。
- 結果的に、各々により適したパーソナライズされたソリューションの提供が可能になる。

#### ■ 情報アクセスの利便性向上

- 日本国内の海外展開をしていない企業の情報を、集約してタイ側企業・機関へ情報提供することにより、情報源が集約されるため、タイ事業者の探索コストが削減される。

#### ■ サービス提供者の付加価値向上

- 現地の介護施設やその他サービスを提供している企業や機関において、機能性の高い福祉用具に触れる機会が増えるため、サービスの質の向上や知識の習得に繋がり付加価値の向上に繋がる。

## 実施相手国の裨益（3/3）

### （ウ）タイに日本式セラピスト短期人材育成プログラム（案）を作成、導入可否の実施調査

#### ■ リハビリ人材の確保による生活の質の向上

- 今回タイ保健省と起案するリハビリ総合人材「准」理学作業療法士（仮称）の育成プロジェクトは、今後高齢化が進みリハビリ人材の不足が課題となるであろうASEAN諸国に日本の理学療法士と作業療法士の協業による高齢者支援を広めていくための有効なプロジェクトになり得る。
- 人手不足により1対1での個別対応を行うことが難しい場面も多く、人材確保による現在の理学療法士の負担軽減、及び、患者へのリハビリ充実度の向上に繋がる。

#### ■ 新たな職業の創出

- 理学療法士資格取得には4年生大学の卒業が必要となるが、経済的な理由から投資が難しい人への選択肢の拡大となり、職業創出の機会になりうる。

#### ■ 交通事故によるリハビリ対象者の回復

- タイでは、特有の交通事情により、交通事故によるリハビリ対象者が多くなっている。そのため、短期人材育成プログラム（案）の作成により、タイにリハビリ人材が増えることで、より多くの事故によるリハビリ患者の回復に繋がり、国力としての回復も促進する。



# 本年度補助事業 活動計画



## 本年度補助事業期間の達成目標

### (ア) タイのセラピストの車椅子製品理解向上と新規販売経路の開拓（セラピストの質の向上）

- セラピストを介在した車椅子の販売の拡大
- 「車椅子再発見プロジェクト」のタイ版を実施することによるタイ人セラピストにおける福祉機器の役割の理解
- 高齢者施設への車椅子や福祉機器の販売

### (イ) JASPA会員でタイ未進出の企業・製品のタイでの需要調査

- 代表団体の日本からの輸出事業拡大
- Matsunaga (Thailand) の販売拡大
- 日本の福祉用具関連企業の海外進出・事業拡大

### (ウ) タイ保健省推進「リハビリ総合人材「准」理学作業療法士（仮称）の教育システム構築」のロードマップ策定に参画

- 日本の福祉用具の販売チャネルの拡大

# 本年度補助事業の実施内容（1/2）

## 実施内容

### （ア） タイのセラピストの車 椅子製品理解向上と新 規販売経路の開拓

#### ア-① セラピスト紹介販売スキーム

- 紹介販売促進資料の作成
- バンコク病院リハビリテーション科向けセミナーと販売スキームの説明会実施
- 隔月の問い合わせ件数と販売件数をもとにした定量評価及び紹介を受けた利用者の評価

#### ア-② 「車椅子再発見プロジェクト」タイ版の実施

- セミナー資料の作成とタイ語化
- セラピストのシーティング\*1に関する理解度の調査
- バンコク病院リハビリテーション科にてセミナー実施
- セミナー実施に車椅子を含めた福祉機器の商品展示
- セミナー参加者からのアンケート調査

### （イ） JASPA会員でタイ未進 出の企業・製品のタイ での需要調査

#### イ-① タイのセラピストにおける日本の福祉用具に関する需要調査

- タイのセラピスト向けの商品説明資料作成
- タイのセラピストへの需要アンケート調査
- ショールームにて顧客へのニーズ調査

#### イ-② ビジネスマッチング（JASPA会員企業・タイ商工会議所保健衛生委員会）

- JASPA会員向けオンラインセミナー実施
- 個別オンラインビジネスマッチング実施

#### イ-③ 民間病院・高齢者施設リハ室向け展示会実施（日本人セラピストによるセミナー併設）

- SHSTA\*2会員向けオンラインセミナー実施
- Universal Designing Center\*3と合同で展示会実施

\*1 高齢者ケアにおけるシーティング：体幹機能や座位保持機能が低下した高齢者が、個々の望む活動や参加を実現し、自立を促すために、椅子や車椅子等に快適に座るための支援であり、その支援を通して、高齢者の尊厳ある自立した生活の保障を目指すもの」です。令和2年度 厚生労働省 老人保健健康増進等事業「車椅子における座位保持等と身体拘束との関係についての調査研究」

\*2 SHSTA：タイの高齢者施設が会員企業となっている団体であり、450施設が加入している。

\*3 Universal Designing Center：チュラロンコン大学内にあるユニバーサルデザインの促進を啓蒙している団体。

## 本年度補助事業の実施内容（2/2）

### 実施内容

**（ウ）**  
タイ保健省推進  
「リハビリ総合人材  
「准」理学療法士  
（仮称）の教育シス  
テム構築」のロードマ  
ップ策定に参画

#### ウ-① タイ保健省の理学療法士委員会への参加

- 隔月での理学療法士委員会への参加（オンライン含む）

#### ウ-② 日本の介護現場でセラピストが果たす役割のセミナー

- タイ保健省向けプレゼン資料作成
- タイ保健省向けセミナー実施
- タイ理学療法士協会向けセミナー実施

## 本年度補助事業の活動スケジュール

実施内容				2022年				2023年		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ア-① セラピスト販売スキームの確立	実施									
ア-② 車椅子再発見プロジェクトのタイ版実施		準備	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
イ-① セラピスト向けの福祉用具需要調査					実施					
イ-② JASPA企業とのビジネスマッチング		セミナー			セミナー		準備	実施		
イ-③ 民間病院・施設向け展示会実施					準備	実施	実施			
ウ-① タイ保健省理学療法士委員会への参画	実施									
ウ-② タイ保健省向けセラピストの役割セミナー					実施		準備	準備	準備	
報告書作成		実施								

## IV.

# 本年度補助事業 活動報告

- ・ 活動報告
- ・ 活動成果

# 実証調査活動報告（ア-①②）

活動内容	実施状況	進捗状況や達成状況
ア-① セラピスト 紹介販売 スキーム	完了 (100%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>セラピストからの紹介販売スキームに必要なコンテンツの作成を完了した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ カタログ</li> <li>➢ チラシ</li> <li>➢ 割引チケット（紹介者の判別情報記載）</li> </ul> </li> <li>バンコク病院のリハビリテーション科の担当者にスキーム内容と業務内容を説明した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ バンコク病院にて、セラピスト紹介販売スキームの実証を行い、問い合わせ件数や販売件数等の定量的評価を行った。（結果の詳細は後述）</li> </ul> </li> <li>リストアップした他の病院（20病院）にも同様の紹介スキームの提案を開始した。</li> </ul>
ア-② 「車椅子再発 見プロジェクト」タイ版の 準備	完了 (100%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイ版の策定のため北原リハビリテーション病院にて車椅子再発見プロジェクトを実施した。</li> <li>内容について検討を行いタイ版のドラフトの作成を完了した。</li> <li>発表内容と通訳のプロトコルを確定した。</li> </ul>

図表1：割引チケット



出所：松永製作所作成

図表2：北原リハビリテーション病院にて  
車椅子再発見プロジェクトを実施



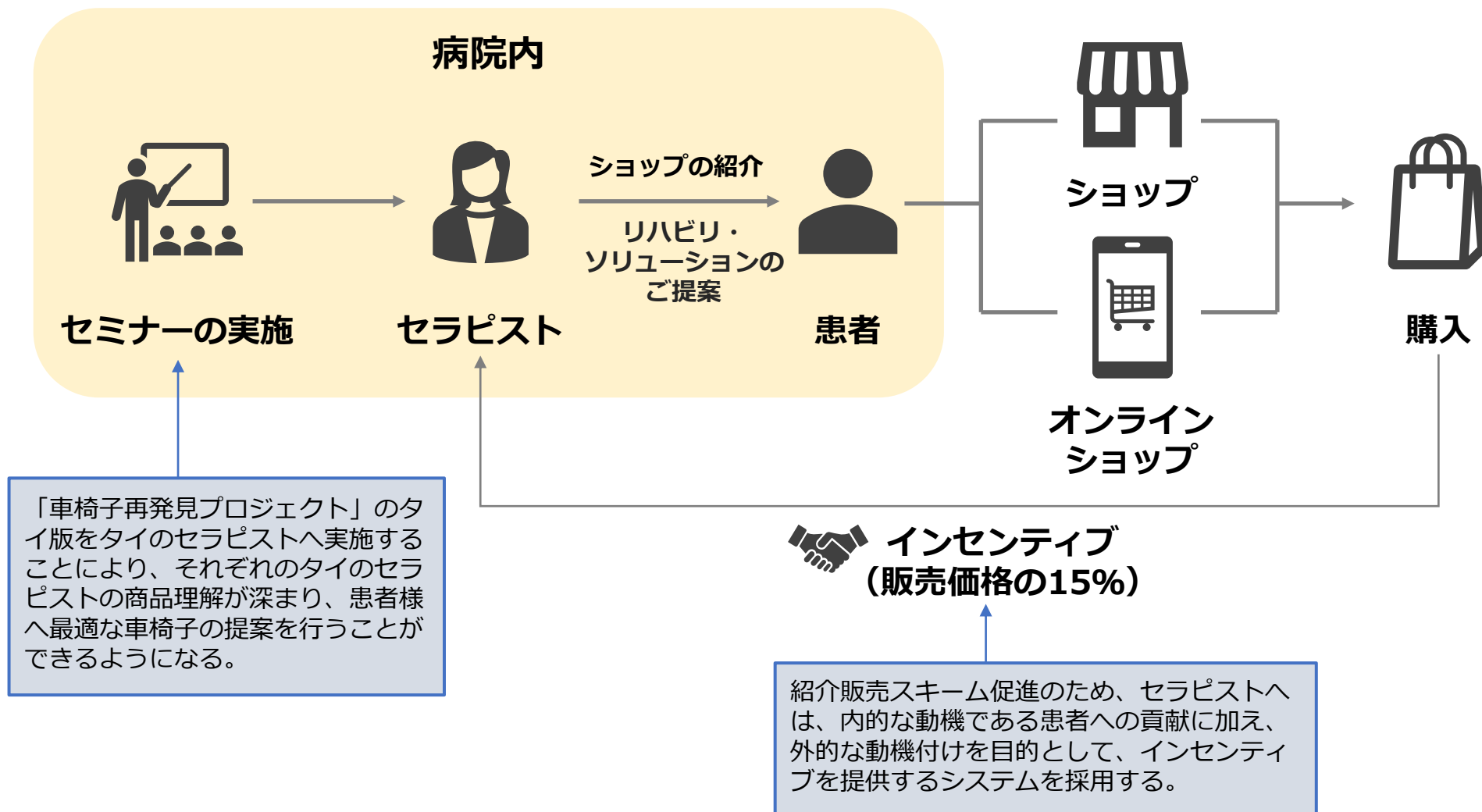
出所：松永製作所作成

図表3：「車椅子再発見プロジェクト」  
タイ版のドラフト



出所：松永製作所作成

## 実証調査活動報告 | (ア) ①セラピスト紹介販売スキーム【補足】



## 実証調査活動報告 | (ア) ①セラピスト紹介販売スキームの実績

■ 期間 : 2022年9月～2023年1月

■ 総売上 = 205,600 THB (約822,400円)

	2022年 9月	2022年 10月	2022年 11月	2022年 12月	2023年1月
問い合わせ件数*1	4	4	4	1	1
販売件数	0	2	2	0	1
販売個数	0	2	2	0	3
販売チャネル (ショップorオンラインショップ)	ショップ	ショップ	ショップ	ショップ	ショップ
販売形態	一括支払い	一括支払い	一括支払い	一括支払い	一括支払い
販売商品 (価格)	-	<ul style="list-style-type: none"><li>• NEXT-51B:40,500 THB (約16万円)</li><li>• FR-31TR:49,500 THB (約19万円)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• GEMINO 30 WALKER : 28,800 THB (約11万円)</li><li>• GEMINO 30 PINK : 17,100THB (約6万6千円)</li></ul>	-	<ul style="list-style-type: none"><li>• MW-SL3D : 27,900 THB (約10万円)</li><li>• SW-21W : 28,800 THB約11万円)</li><li>• GEMINO 30 WALKER : 28,800 THB (約11万円)</li></ul>

\*1「問い合わせ件数」 : セラピストの紹介により、利用者からショップに問い合わせがあった件数



## 実証調査活動報告（ア-②）

活動内容	実施状況	進捗状況や達成状況
<p>ア-② 「車椅子再発見プロジェクト」タイ版の実施</p>	<p>完了 (100%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Chersary Nursing Homeにて車椅子再発見プロジェクトを実施した</li> <li>● バンコク病院にて車椅子再発見プロジェクトのセミナーを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 上記の2病院を訪問し、セラピストの車椅子再発見プロジェクトに関する知識レベルの調査を行った。</li> <li>➢ バンコク病院を訪問し、車椅子再発見プロジェクトのセミナーに対するヒアリングを実施した結果、継続して行なってほしいというフィードバックが得られた。</li> </ul> </li> <li>● 車椅子再発見プロジェクトの総括を行い、セミナー自体は以下の内容を増やし、継続していくことを決定した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ より効率的に販売に繋げるために、介護ショップとリハビリクリニックの併設についても今後検討していく方向性を決定した。</li> <li>➢ 事例紹介が有効的というフィードバックから、内容に追加して増やすことを決定した。</li> <li>➢ 体験型セミナーが分かりやすいというフィードバックから、次回以降増やすことを決定した。</li> </ul> </li> </ul>

図表4：Chersary Nursing Homeにて  
車椅子再発見プロジェクトを実施



出所：松永製作所作成

図表5：バンコク病院にて  
車椅子再発見プロジェクトを実施



出所：松永製作所作成

## 実証調査活動報告 | (ア) ②車椅子再発見プロジェクト【補足】

- 日本に於いてセラピストが車椅子などの福祉用具の知識を付けるのは、養成校の基礎学習時ではなく実際の現場に出てからのことが多い。将来のセラピストに養成校での教育段階から車椅子の有用性を学習させることで、より多くのセラピストが現場に出た直後から利用者に適した車椅子の選定に寄与できるようにするため、「車椅子再発見プロジェクト」という日本国内のセラピスト養成校でのセミナーを本年度から開始した。このプログラムは個々の被介護者に適した車椅子の選定が介護予防のために重要であることの基礎知識であり、福祉用具についての知識に乏しいタイのセラピスト教育にも適していると考えられる。日本に於いて福祉機器製造業者とセラピストとの関係は更に深まる傾向にある。
- 既存のセラピストに対する適正な車椅子の選び方及びその重要性に関する啓発活動を行い、タイのセラピストが患者に対して車椅子を選定する際に、利用者に適したものを提案できる知識の習得を目指すために行う。



## 実証調査活動報告 | (ア) ②車椅子再発見プロジェクト (1/2)

### 「車椅子再発見プロジェクト」@バンコク病院

2023年度12月22日に実施

参加者：約25名（リハビリテーション科の理学療法士）

### ■ プログラム

時刻	内容	担当
17:15	オープニング	松永製作所
17:20	松永製作所について	松永製作所
17:40	退院時指導・家屋調整	KMSI
18:10	車椅子による姿勢改善	松永製作所
18:30	商品説明会（体験）	松永製作所

### ■ 車椅子再発見プロジェクトに対するフィードバック@バンコク病院

- 実際の事例紹介が非常に分かりやすく、より多くの事例紹介があると良かった。
- 現在の住居での生活に戻ることを目指したリハビリや指導はとても有効的だと感じた。
- 体験型セミナーで実際に体験することにより、理解度が深まった。次回は体験セミナーの時間を拡張してほしい。

# 実証調査活動報告 | (ア) ②車椅子再発見プロジェクト (2/2)

## ■ 総括

- ・ 事例紹介が好評だったため、実際の事例紹介の件数を増やしていくことを決定した。
- ・ 患者の自宅環境を想定したセミナーが有効とのフィードバックがあったため、タイで再現できる環境を元に内容を調整することを検討する。
- ・ 体験型セミナーで実体験ができたことが有効だったため、次回以降は体験セミナーの内容を濃くすることを決定した。

## ■ 今後セラピスト紹介販売スキームの導入を目指す病院リスト

### ➤ 選定の基準

→ 富裕層、中間層向けのバンコク内の病院（価格と収入の関係のため）

No.	病院名	No.	病院名
1	Rajavithi Hospital	11	Bangkok christian hospital
2	Tropical Medicine Hospital	12	Thammasat university hospital
3	Ramathibodi Hospital	13	Saint Louis Hospital
4	Phyathai 2 Hospital	14	Chulalongkorn Hospital
5	Paolo Hospital Phaholyothin	15	BNH Hospital
6	Suan Benchakiti Hospital	16	Thonburi Hospital
7	kasemrad rattanatibeth	17	Siriraj Hospita ISIPH
8	Navavej International Hospital	18	Rama 9 Hospital
9	Kasemrad international	19	Golden Jubilee Medical Center
10	Thonburi burana	20	Phyathai 3 Hospital



# 実証調査活動報告（イ）

活動内容	実施状況	進捗状況や達成状況
<p>イ-① タイのセラピストにおける日本の福祉用具に関する需要調査</p>	<p>完了 (100%)</p>	<p><b>需要調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● バンコク病院のセラピストに対して、「日本の福祉用具に関する需要について」、及び、「患者の在宅での生活への関わり方について」のヒアリングを実施した。</li> <li>● 需要調査のアンケートを実施した。</li> </ul> <p><b>シコク社</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 需要調査の結果、住宅改修の商品が少ないことがわかり、シコク社新規5商品を選定しタイへの輸出を完了した。（選定基準：現状タイにないもの）</li> <li>● シコク社新規5商品をKAIGO Lifeショールームにて展示を実施した。</li> </ul> <p><b>その他商品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● その他、他社商品（吸引器、サドル付き歩行器、立ち上がり補助機器など）も需要調査対象として検討中。</li> <li>● トヨタリーシングタイランド社とChersary Nursing Homeにて福祉車両のデモを実施した。</li> </ul>

図表6：吸引器



出所：松永製作所作成

図表7：トヨタリーシングタイランドとChersary Nursing Homeにて福祉車両のデモを実施



出所：松永製作所作成

図表8：バンコク病院におけるヒアリング



出所：松永製作所作成

### ■ バンコク病院のセラピストへの需要アンケート調査（日本の福祉用具に関する需要について）

#### <ポジティブフィードバック>

- ・ 屋内・屋外スロープ、手すり付きトイレ、ハイブリッドクッションなど、タイにおいて類似製品がない製品で、非常に役立つと思う商品が多数ある。
- ・ 姿勢補正機能付きの車椅子について、とても役立つと感じた。
- ・ 移動式洗面台など、病院・介護施設などで非常に役立つと感じた。特にタイでは洗浄時に多くの看護師、介護士が腰に大きな負担を感じているため、職場改善にも繋がると感じた。
- ・ タイにおいてリハビリセンター（富裕層向け）が不足しているため、今後の動向を考慮すると今のうちに様々な福祉用具の情報を収集しておきたい。

#### <ネガティブフィードバック>

- ・ 価格面から富裕層など限定的であり、中低所得者層へ提供ができないため、課題を感じる。
- ・ ハイテクではないものに関しては、日本からの技術提供をもとに、タイで生産しよりコストを抑えてほしい。
- ・ タイの物価を考慮していない価格設定は受け入れ難いと感じる。
- ・ タイ語のマニュアルがないものがあり、使用に際して心理的ハードルが高い。
- ・ 修理や問い合わせで、アフターサービスなどがあるか、タイ語での対応が可能かが不安に感じる。

## 実証調査活動報告 | (イ) ①タイのセラピストにおける日本の福祉用具に関する需要調査 (2/3)

### ■ バンコク病院のセラピストへの需要アンケート調査（患者の在宅での生活への関わり方について）

#### 【調査結果】

- ・ 調査の結果、在宅でのリハビリの重要性については認識しているが、現状セラピストのジョブディスクリプションへの記述がないため、福祉用具に対する提案は実施していない。
- ・ また、唯一実施しているのは、住宅改修（手すりや段差の改修など）に関する提案であり、自宅の写真やZOOMなどで現状把握を行うことで、福祉用具を提案している。

#### 【調査結果を受けての活動】

- ・ 需要調査により、住宅改修の商品が少ないことが判明したため、シコク社の商品のうち、現状タイに無い新規5商品を輸出することとし、タイへの輸出が完了した。
- ・ その他製品（吸引器・サドル付き歩行器・立ち上がり補助機器など）についても、継続して輸出要否を検討する。

### ■ Chersary Nursing Homeにおける顧客への需要調査

#### 【調査結果】

- ・ Chersary Nursing Homeでの車椅子再発見プロジェクトセミナー時に商品展示を行い、手すりなどの住宅改修機器などに高い興味を示された。

#### 【調査結果を受けての活動】

- ・ 日本式の「ユニバーサルデザイン」として、パッケージ提案する際に住宅改修機器も含めて一括した提案を行う。
- ・ 「車椅子再発見プロジェクト」タイ語版の実施の中でも住宅改修機器を含める。

## 実証調査活動報告 | (イ) ①タイのセラピストにおける日本の福祉用具に関する需要調査 (3/3)

■ 需要調査の結果を踏まえて、本補助事業期間中にタイへの輸入が完了した商品は以下の通り。

No.	製品	企業名	選定理由（※タイにおけるニーズや、現地製品との製品機能面・価格面の比較の観点から記載）
①	屋外用スロープ	シコク社	過去訪タイ時の市場調査にて、タイで流通していない製品の ため需要があると見込んだ
②	屋内用住宅改修 スロープ	シコク社	過去訪タイ時の市場調査にて、タイで流通していない製品の ため需要があると見込んだ
③	トイレ用手すり	シコク社	過去訪タイ時の市場調査にて、タイで流通していない製品の ため需要があると見込んだ
④	屋外用手すりバー	シコク社	タイ住宅改修の業者からのニーズあり
⑤	手すり取り付け用 部品	シコク社	タイ住宅改修の業者からのニーズあり
⑥	クッション	加地社	過去訪タイ時の市場調査にて、タイで流通していない製品の ため需要があると見込んだ



# 実証調査活動報告（イ-②③）

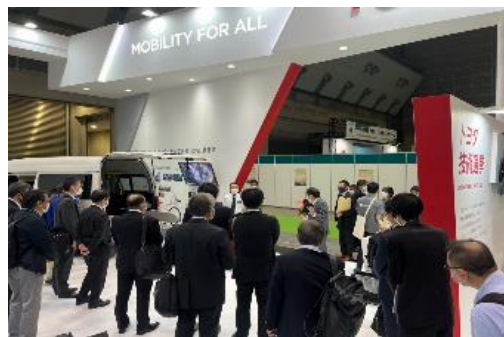
活動内容	実施状況	進捗状況や達成状況
イ-② ビジネスマッチング（JASPA 会員企業・タイ 商工会議所保健 衛生委員会）	完了 (100%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際福祉機器展@東京（HCR）時にJASPA会員企業のブースを視察した。</li> <li>● タイ商工会議所保健衛生委員会にてビジネスマッチングの提案を完了した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ シコク社の新規商品のタイへの輸入が完了した。</li> <li>➢ 加地社製のクッションの輸入が完了した。</li> </ul> </li> <li>● JASPAとの会議により決定した今後の実施事項： <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ JASPAと3月の展示会Style Bangkokの際に視察団として来タイが決定（経産省・医療・福祉機器産業室も同行）</li> <li>➢ タイ投資委員会（BOI）も会議に同席し、日本からの投資に対して積極的に支援していきたいことから、まずはJASPA会員向けにBOIセミナー実施で合意した。</li> </ul> </li> </ul>
イ-③ 民間病院・高齢 者施設リハ室向 け展示会実施 （日本人セラピ ストによるセミ ナー併設）	完了 (100%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 『車椅子再発見プロジェクト』と併設で商品展示を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ Chersary Nursing Homeでの車椅子再発見プロジェクトにて実施した。</li> <li>➢ バンコク病院での車椅子再発見プロジェクトにて実施した。</li> <li>➢ SHSTAが開催するセミナー時に商品展示を実施した。（SHSTA：Senior Healthcare Service and Trade Association）</li> </ul> </li> </ul>

図表9：HCR松永製作所ブース訪問



出所：松永製作所作成

図表10：HCR TOYOTAブース訪問



出所：松永製作所作成

図表11：シコク社の新規商品の  
タイへの輸入完了



出所：松永製作所作成

# 実証調査活動報告（イ-②③）

活動内容	実施状況	進捗状況や達成状況
<p>イ-③ 民間病院・高齢者施設リハ室向け展示会実施（日本人セラピストによるセミナー併設）</p>	<p>完了 (100%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 展示内容とアンケートの準備を完了した。</li> <li>● 展示品の加地社のクッションについてWEB勉強会を受講した。</li> <li>● 車椅子再発見プロジェクトセミナー時に商品展示とアンケート調査を実施した。</li> <li>● Chersary Nursing Homeにて福祉車両の2回目の打ち合わせを実施した。</li> <li>● 経済産業省 橋本ヘルスケア産業課長と今後の日タイの架け橋としての役割について協議した。</li> <li>● 九州経済連合会と視察団の旅程・内容について協議した。</li> </ul> <p>（アンケート結果詳細はP.58、59参照）</p>

図表12：Chersary Nursing Homeにて  
車椅子再発見プロジェクトを実施



出所：松永製作所作成

図表13：SHSTAにて  
車椅子再発見プロジェクトを実施



出所：松永製作所作成

## 実証調査活動報告（ウ）

活動内容	実施状況	進捗状況や達成状況
ウ-① タイ保健省の 理学療法士委 員会への参加	未了	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイ保健省の理学療法士委員会が開催されていない状況である。               <ul style="list-style-type: none"> <li>理由としては、人事異動で局長含め刷新があり優先度の変更があったため。</li> <li>タイにて日本式の理学療法士を育成するために、初動段階から参画をしており、カリキュラム案などを策定することができた一方で、理学療法士委員会が開催されていないため、今後も大きく開催が遅延するような場合には民間との連携に切り替えて進める必要がある。</li> </ul> </li> </ul> <p>（タイ保健省へのヒアリング詳細はP.59、60参照）</p>
ウ-② 日本の介護現 場でセラピス トが果たす役 割のセミナー （タイ保健省 向け）	完了 (100%)	<p>①タイ保健省向けプレゼン資料作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2023年2月28日に、タイ保健省とリハビリについてのセミナーとパネルディスカッションを実施した。</li> </ul> <p>②タイ保健省向けセミナー実施（セミナーは2023年2月28日に実施した）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タイ保健省諮問委員が北原リハビリテーション病院の視察を実施した。</li> <li>タイ保健省にてセラピスト向けセミナーの内容について協議を実施した。2月初旬）に内容を含めヒアリングを実施することを合意した。</li> <li>タイ保健省オー上級研究員とMEJ間で第3回ヘルスケアビジネス交換会を実施した。</li> </ul>

図表14：保健省オー上級研究員と  
MEJ間第3回ヘルスケアビジネス交換会



出所：松永製作所作成



# 実証調査活動報告（ウ-②）

活動内容	実施状況	進捗状況や達成状況
<p>ウ-② 日本の介護現場 でセラピストが 果たす役割のセ ミナー（理学療 法士協会向け）</p>	<p>完了 (100%)</p>	<p>③タイ理学療法士協会向けセミナー実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セラピストの現状把握のためのヒアリングを実施した。（シリントンリハビリテーションセンター、バンコク病院、チュラロンコン病院、クルアイナムタイ病院、高級高齢者施設サンプレー）</li> <li>病院・高齢者施設のリハビリテーション室の視察を実施した。</li> <li>クルアイナムタイ病院にて「メディカルタイマッサージ師」のヒアリングとともに施術を受け内容の把握を行った。</li> <li>「メディカルタイマッサージ師」向けのカリキュラム策定中である。クルアイナムタイ病院と北原国際病院との間でリハビリを含めたプロジェクトの実施について協議を開始した。</li> <li>「メディカルタイマッサージ師」向けのカリキュラム案を保健省に提案した。（AppendixP.102～105参照）</li> </ul>

図表15：北原グループとクルアイナムタイ病院訪問



出所：松永製作所作成

図表16：クルアイナムタイ病院とチュラロンコン大学病院訪問



出所：松永製作所作成

図表17：タイ保健省諮問委員が北原リハビリテーション病院の視察



出所：松永製作所作成

# 実証調査活動報告 | (ウ) ②タイ保健省向けセミナー実施 (1/3)

## ■ 概要

2023年2月28日 8時30分～13時

於 タイ保健省健康サービス推進局

## ■ プログラム

### ① オープニング&スピーチ

「ウェルネスツーリズムのためのリハビリテーションサービスの促進  
に関するタイのビジョン」

アコム・プラディツワン博士

副局長、DHSS、MOPH

### ② 「タイのリハビリテーション療養所の現行運営体制」

チョムプーヌク博士

シリントーン国立医療リハビリテーション研究所

医療サービス部門

ขอเชิญเข้าร่วมประชุมสัมมนาวิชาการ  
การบริหารและจัดบริการฟื้นฟูสมรรถภาพ  
ทางการแพทย์ในสถานพยาบาล  
ผ่านสื่ออิเล็กทรอนิกส์  
ในวันที่ 28 กุมภาพันธ์ 2566  
เวลา 8.30-13.00 น.

**THE GOOD PRACTICE  
OF REHABILITATION**

- ทพ.อาคม ประดิษฐสุวรรณ**  
รองอธิบดีกรมสนับสนุนบริการสุขภาพ  
เปิดการสัมมนาและบรรยายพิเศษ เรื่อง  
การส่งเสริมการท่องเที่ยวเชิงสุขภาพ  
ด้วยการฟื้นฟูสมรรถภาพทางการแพทย์
- พญ.ชนพูน พงษ์ฉีกศิริ**  
หัวหน้ากลุ่มงานเวชศาสตร์ฟื้นฟู  
สถาบันรับรองเพื่อการพัฒนา  
ทางการแพทย์แห่งชาติ  
บทบาทสถาบันรับรองเพื่อการพัฒนา  
สมรรถภาพทางการแพทย์
- Dr. Shigemi Kitahara**  
The Founder of the Kitahara  
International Hospital, Japan  
การบริหารและจัดบริการฟื้นฟูสมรรถภาพ  
ทางการแพทย์ของ Kitahara  
International Hospital
- Mr. Kazunari Yokota**  
The First Secretary, Japan  
Embassy  
ความร่วมมือไทย-ญี่ปุ่น ด้านการท่องเที่ยว  
เชิงสุขภาพ
- ดร.เจนเนต เจียวนาคะ**  
หัวหน้ากลุ่มส่งเสริมวิชาการ  
และมาตรฐานภาครัฐ  
บทบาท การวิจัย และความรู้ทางคลินิกของ  
กองสถานพยาบาลและการประกอบโรคศิลปะ  
ในการส่งเสริม สนับสนุนการท่องเที่ยวเชิง  
สุขภาพ

ลงทะเบียนเข้าร่วม  
ประชุมสัมมนาได้ที่

ด่วน! จำกัดที่นั่งสัมมนา On-Site  
เพียง 50 ท่าน เท่านั้น

1426

## 実証調査活動報告 | (ウ) ②タイ保健省向けセミナー実施 (2/3)

- ③ 「北原病院グループの考える社会の本質とリハビリテーションを含む  
一貫したサービスの提供」

北原茂実理事長

北原国際病院

- ④ 「ヘルスツーリズムに関するタイと日本の協力」

横田一成一等書記官

在タイ日本国大使館

- ⑤ 「ヘルスツーリズムの促進と支援における看護および職業芸術部門の  
役割、使命、および進歩」

オー上席研究員

DHSS、MOPH

ขอเชิญเข้าร่วมประชุมสัมมนาวิชาการ  
การบริหารและจัดการฟื้นฟูสมรรถภาพ  
ทางการแพทย์ในสถานพยาบาล  
ผ่านสื่ออิเล็กทรอนิกส์  
ในวันที่ 28 กุมภาพันธ์ 2566  
เวลา 8.30-13.00 น.

**THE GOOD PRACTICE  
OF REHABILITATION**

- ทพ.อาคม ประดิษฐสุวรรณ**  
รองอธิบดีกรมสนับสนุนบริการสุขภาพ  
เปิดการสัมมนาและบรรยายพิเศษ เรื่อง  
การส่งเสริมการท่องเที่ยวเชิงสุขภาพ  
ด้วยการฟื้นฟูสมรรถภาพทางการแพทย์
- พญ.ชนพูน พงษ์ฉีกศิริ**  
หัวหน้ากลุ่มงานเวชศาสตร์ฟื้นฟู  
สถาบันรับรองเพื่อการพัฒนา  
ทางการแพทย์แห่งชาติ  
บทบาทสถาบันรับรองเพื่อการพัฒนา  
ทางการแพทย์
- Dr. Shigemichi Kitahara**  
The Founder of the Kitahara  
International Hospital, Japan  
การบริหารและจัดการฟื้นฟูสมรรถภาพ  
ทางการแพทย์ของ Kitahara  
International Hospital
- Mr. Kazunari Yokota**  
The First Secretary, Japan  
Embassy  
ความร่วมมือไทย-ญี่ปุ่น ด้านการท่องเที่ยว  
เชิงสุขภาพ
- ดร.เจนเนต เจียนนาคะ**  
หัวหน้ากลุ่มส่งเสริมวิชาการ  
และมาตรฐานภาครัฐ  
บทบาท การวิจัย และความรู้ทาง  
ของสถานพยาบาลและการประกอบโรคศิลปะ  
ในการส่งเสริม สนับสนุนการท่องเที่ยวเชิง  
สุขภาพ

ลงทะเบียนเข้าร่วม  
ประชุมสัมมนาได้ที่

ด่วน! จำกัดที่นั่งสัมมนา On-Site  
เพียง 50 ที่นั่ง เท่านั้น

1426

## 実証調査活動報告 | (ウ) ②タイ保健省向けセミナー実施 (3/3)

### ■ 参加者の反応

- ・ 部分的なサービスではなく、予防、手術、リハビリテーション、自宅介護まで、一貫したサービスの重要性を理解した。特にタイはそれぞれのケアが個別に成り立っており、横連携の効率が劣っていることから、患者の本当のニーズに応えるために改善の余地があることを認識した。
- ・ リハビリテーションにおいて最も大切な要因として、「患者のモチベーション」が大きく寄与しているという答えが大きな発見だった。これまでリハビリテーションの施術の質の高さに焦点を当てていたが、自宅へ戻ること、すなわち患者の真の目的（モチベーション）を見据えたリハビリテーションという考え方に大きな感銘を受けた。
- ・ 上記のことから、AR・VR・MRなどの最新技術は効率化の補助的手段の一つであり、対面でのリハビリテーションの大切さを改めて認識した。
- ・ 今回のセミナーにおいて、新たな学び、及び驚きがあり、引き続き交流をしていきたいと感じた。
- ・ タイ政府の許容コスト範囲内で交渉をしていきたい。

## 補助事業活動の成果（1/2）

### ■（ア）タイのセラピストの車椅子製品理解向上と新規販売経路の開拓

- 実際に車椅子製品の理解向上と、新規販売経路の開拓を行うことができた（一部民間病院）。
- 車椅子製品への理解向上が、患者の健康向上に寄与することが確認できた。
- 提携病院セラピストへの松永製作所の認知度の拡大、ブランディングを行うことができ、ブランド想起が向上したことがヒアリングから確認できた。
- タイでは、在宅でのサポートが事業として成立していないものの、タイのセラピストは「患者をケアする」心理的モチベーションが高く、今後ビジネスを拡大できる可能性があることを確認することができた。
- 本スキームは、富裕層を対象とする一部の民間病院においては機能をすることを確認した。今後提携先を拡大をしていく。
- 一方で、課題としては、インセンティブ方式の販売スキームを受け入れない病院もあり、インセンティブ形式ではない活動を導入していく必要がある。



## 補助事業活動の成果（2/2）

### ■（イ）JASPA会員でタイ未進出の企業・製品のタイでの需要調査

- タイ企業・政府としては、日本から「ハード」の製品よりも、「ソフト」のノウハウなどを期待していることが調査から明らかになった。
- 特に住宅改修やユニバーサルデザインの考え方が浸透しておらず、今後の日本の福祉用具ビジネス展開の契機になると考えている。
- ビジネスマッチングを行うにあたり、進出前の事前マーケット調査の深度が課題として挙げられる。

### ■（ウ）タイ保健省推進「リハビリ総合人材「准」理学作業療法士（仮称）の教育システム構築」のロードマップ策定に参画

- 保健省の事情により委員会は未開催であるが、下記の成果があった。
- メディカルマッサージ師に不足している知識を把握することができ、今後の理学療法セミナーの内容策定の指針を得ることができた。
- タイにおける理学療法士の人手不足も改めて認識することができ、タイにおける理学療法士不足に大きく貢献できると考えている。
- 本案件の現時点での省内優先度が人事異動等のため低下しており、場合によっては民間企業との連携を視野に入れていくことが課題である。

V.

# 本補助事業活動の考察

## 補助事業活動を踏まえての考察や課題、その対応策（1/4）

### ■ 実施内容（ア）タイのセラピストの車椅子製品理解向上と新規販売経路の開拓（1/2）

#### ➤ タイのセラピストの現状理解

→ バンコク病院リハビリテーション部の担当者に「セラピスト紹介販売スキーム」の内容説明を行った際、以下の【課題】が明らかになった。

#### 【課題】

- セラピスト自身も患者が退院した後の在宅での生活への関与が健康寿命の延伸に重要であることは認識しているが、知識と手法の知識が不足していることが分かった。
- 商品知識も圧倒的に不足していることが分かった。
- 病院が在宅でのサポートを事業として重要視していないことが分かった。
- タイのセラピストの車椅子に対する認識として「移動用具止まり」という意見が多かった。一部の姿勢の重要性を理解しているセラピストにおいても、車椅子によって姿勢の改善が出来ること、リハビリに繋がることは理解していない。

#### 【対応策】

- 日本のセラピストが如何にして患者の在宅での生活に関与しているか、日本の高機能な福祉用具が患者の在宅で如何に有益かをセミナーを通して周知していくことが必要である。
- 商品情報を説明する際には、商品の機能説明だけでなく、患者の健康寿命の延伸にどう寄与するかという点にフォーカスする必要があるため、今後のセミナーでは車椅子で姿勢を改善できることを全面に提案していく。
- 病院（高齢者施設含む）に対して、在宅でのサポートを事業化することで、売上の拡大に寄与できることを訴求していく必要がある。

## 補助事業活動を踏まえての考察や課題、その対応策（2/4）

### ■ 実施内容（ア）タイのセラピストの車椅子製品理解向上と新規販売経路の開拓（2/2）

#### ➤ 車椅子再発見プロジェクトの実施

##### 【課題】

- 車椅子の製品理解は向上したが（機能性や良さなど）、その必要性までを理解して頂くことがやや困難である。

##### 【対応策】

- 事例紹介や体験型セミナー等を実施することによって、セミナーの内容をブラッシュアップしていくことで、必要性についてより分かりやすく伝える必要がある。（2023年3月以降に次回セミナーを実施予定）

#### ➤ セラピスト紹介販売スキームの実証

##### 【課題】

- 一部の病院でインセンティブ付与が難しい病院が出てきている。

##### 【対応策】

- 退院患者に対するビジネス上のメリットを提案する活動をしていきたい。
- 病院、介護施設に対して、組織内だけでなく、退院後の在宅サービスへの事業拡大も有益であることを今後伝えていく。
- セラピストのみへのアプローチは効率が悪いいため、病院、介護施設に対する提案内容を検討する。

## 補助事業活動を踏まえての考察や課題、その対応策（3/4）

### ■ 実施内容（イ）JASPA会員でタイ未進出の企業・製品のタイでの需要調査

#### 【課題】

- 日本の高機能で多品種の福祉機器などに商機があることは認識できた。
- JASPA並びに他の団体（都道府県など）に属する企業も視察団を企画している。

#### 【対応策】

- 進出支援をするためのプロトコル（市場調査・FDA調査・パートナー選定）を確定させる。
- 各団体のタイへの視察ツアーとビジネスマッチングを企画する。

## 補助事業活動を踏まえての考察や課題、その対応策（4/4）

### ■ 実施内容（ウ）タイ保健省推進「リハビリ総合人材「准」理学療法士（仮称）の教育システム構築」のロードマップ策定に参画

#### 【課題】

- 病院・高齢者施設へのヒアリングや保健省諮問委員との情報交換から、理学療法士の数の不足を改めて認識した。
- タイには、セラピストとは別に「メディカルタイマッサージ師」が存在し、セラピストと類似した業務を行っていることを認識した。また、一般的な「メディカルタイマッサージ師」は理学療法の知識が圧倒的に不足していることも認識した。（メディカルタイマッサージ師の資格、役割、養成情報はⅦ調査結果詳細P.61を参照）
- 人事異動で局長含め刷新があり優先度の変更があったため、タイ保健省の理学療法士委員会の開催が実施されていない。

#### 【対応策】

- 「メディカルタイマッサージ師」に関して不足している理学療法のセミナーを実施していく必要がある一方で、一般的な「メディカルタイマッサージ師」に対しての短期人材育成プログラムの内容については、時間をかけて精査していく必要がある。
- タイにて日本式の理学療法士を育成するために、初動段階から参画をしており、カリキュラム案などを策定することができた一方で、理学療法士委員会が開催されていないため、今後も大きく開催が遅延するような場合には民間との連携に切り替えて進める必要がある。

# タイが抱える課題と解決策

## タイが抱える課題

- リハビリ・介護に関わる人材が不足している（給与が低く、成り手が少ないため）。
- 中産階級に対してのリハビリ・介護サービスが不足している。
- メディカルツーリズムに代表されるツーリズム産業がコロナ禍で低迷している。

---

## 課題を解決するための方針

- 新たにリハビリや介護人材を作るのではなく、タイ国内にすでに多く存在し、給与水準が低いタイマッサージセラピストにリハビリ技術や知識を学ばせることで付加価値をつけさせて人材を増やす。
- リハビリ・フレイル対策をサービスとして富裕層に提供し、付加価値に対して対価を支払うための収益を得る。

---

## 必要な人材への教育方針

- 基礎的な医療知識を習得済みのタイメディカルマッサージセラピストから教育を始め、タイマッサージセラピストに対象を拡大していく。
- 提供するリハビリの対象を、最初は脳卒中後遺症の患者に絞り、その後、対象を他疾患の患者に拡大する。
- 提供するリハビリサービスは質的な効果よりも量的な効果を重視する。リハビリテーション専門知識の理解している必要はなく、運動学習概念、基本動作の介助方法、リスク管理を重点的に教育することで短期間でリハビリを提供できるようにする。
- 教育に加え、日本人セラピストが遠隔でサポートを行い、サービスの質を担保する。
- 日常生活動作や住環境、福祉用具についての知識、他人の身体を動かすことには慣れていると思われるが疾患毎の注意点は学ぶ必要あり
- 物理療法や一部リハビリ機器は専門的な知識や技術を必要としないものがあるので、それを使えるようにする。

---

## リハビリサービス提供以外の展開の可能性

- 単なるリハビリではなく、これまでタイが観光で培ってきた、安く快適に暮らせるメイド・マッサージセラピストや高品質なスパ文化を踏襲したリハビリ+&のサービスを生み出し、ウェルネスツーリズムをとおして富裕層に提供する。
- 上記サービスをとおして障害を持った方も安全かつ快適な生活の提供という新たな価値のサービスを創出する。
- 国内外の富裕層に対するウェルネスツーリズムやリハビリ・フレイル対策サービスで収益を確保し、中産階級が利用できる価格でのサービス提供を目指す。



# 今後の事業展開に向けた考察

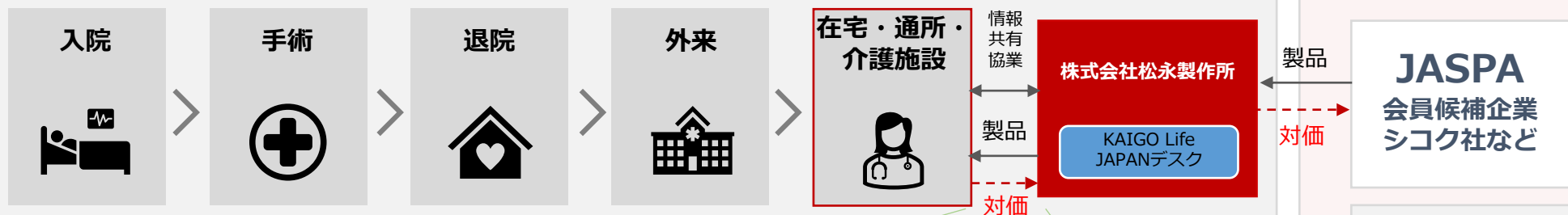


## タイ

### 現状のターゲット・今後に向けた仮説

- 現状のターゲットは、退院後の在宅介護部分になるが、車椅子だけでは解決できない課題を、他介護福祉用具を取り扱う他事業者との連携を行いながら、最終的には、介護全体の流れにおける海外進出プラットフォームを目指していく。

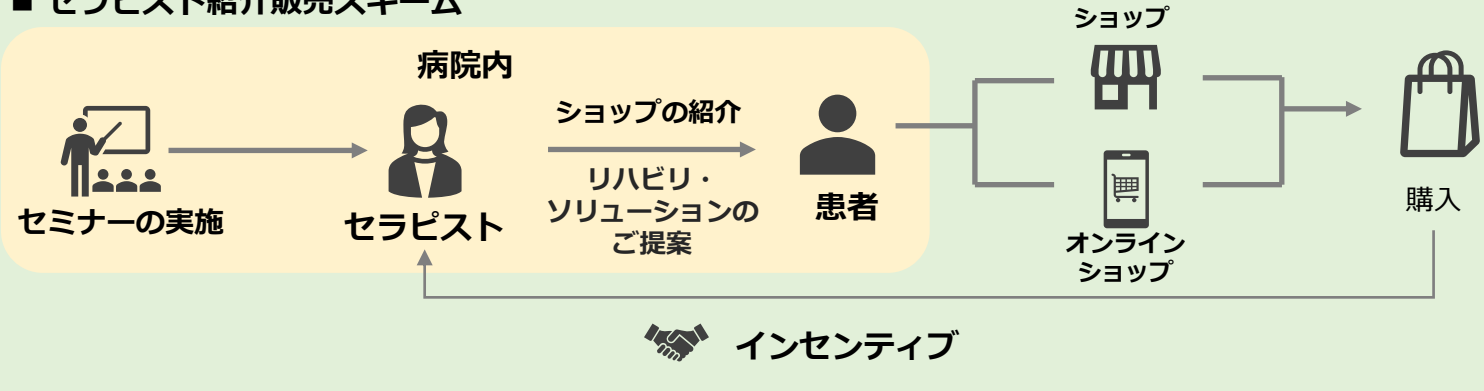
### ■ 入院～在宅介護までの流れ



### 現状の仮説

- 現状は、セラピストへのインセンティブモデルを採用し、患者に対しては、一括での売り切り販売を想定しているが、民間病院であることが成立している大きな要因でもあると考えている。将来的には、国公立病院へのレンタルモデルや、延長事業として在宅サービスへの事業拡大の提案にも繋げていけると考えている。

### ■ セラピスト紹介販売スキーム



## 日本

JASPA  
会員候補企業  
シコク社など

一般社団法人  
日本福祉用具・  
生活支援用具協会  
(JASPA)

情報 ↓ ↑ 対価

株式会社  
KITAHARA  
Medical  
Strategies  
International

技術  
サポート

医療法人社団  
KNI  
外部作業療法士

## 後続の事業者に向けた示唆・アドバイス（成功ポイント・失敗ポイント等）

### ■ タイのセラピストとの協業

- 日本の高品質・高付加価値・高価格帯の製品・サービスを拡販していくためには商品力だけでは困難であるため、セラピストなど医療従事者と協力関係を結び、それぞれの製品を使う意義を伝えてもらうことで、エンドユーザーの意思決定に強く影響することができる。
- セラピストの不足が課題ではあるが、「メディカルタイマッサージ師」が存在し、セラピストと近い役割と認識をされていることを踏まえて活動する必要がある。
- タイのセラピストにおいては、「予防」「自立」に関する知識や商品に対する理解が進んでいないため、「予防」「自立」というキーワードと、それに必要な商品やサービスを繋げる説明方法の創造が必要である。

### ■ 需要調査の必要性

- タイにて、ニーズに沿った商品を展開していくためには、事前の需要調査が必要である。本補助事業期間の需要調査では、住宅改修に関連する商品のニーズが高いことが分かり、日本企業の商品の輸入が実現した。

## 全体考察（1/2）

### ■（ア）タイのセラピストの車椅子製品理解向上と新規販売経路の開拓

- 車椅子再発見プロジェクトセミナーとセラピストの役割セミナーの実施により、販売に繋げる情報発信の内容を確立することができた。
  - 車椅子製品理解は向上したが、その必要性への理解度で課題を確認したため、今後の伝え方を検討していく必要がある。
- セラピストを介した販売も本事業期間中に実績を上げることができ、活動の量と質を向上することで、販売を拡大させることが可能であることが確認できた。
  - セラピストのみでは活動が限定的であるため、住宅サービスの必要性や事業拡大も今後の提案内容に包含していくことを検討する必要がある。

### ■（イ）JASPA会員でタイ未進出の企業・製品のタイでの需要調査

- JASPA会員企業などの新規進出商品について、タイの市場からは住宅改修に関する商品へのニーズの高さを確認できた。また、JASPA以外の日本の地方自治体などからの視察団の受入れにより、日本企業のタイへの進出に関するニーズも確認ができた。
- JASPAとは経済産業省・医療・福祉産業機器推進室と連携して本年度のタイへの視察団の派遣を皮切りに進出支援をしていくことで合意した。
  - タイにおけるサンプル展示会、マーケット調査を実施していく。

### ■（ウ）タイ保健省推進「リハビリ総合人材「准」理学作業療法士（仮称）の教育システム構築」のロードマップ策定に参画

- タイ保健省へのヒアリングにより、タイ政府の日本に対する、日本におけるリハビリテーションのノウハウに対するニーズを把握することができた。また単に日本式を導入するのではなく、タイ独自の資産を使ったものをブレンドしながら、タイ独自のものにカスタマイズしたいという示唆を得られた。
  - 日本式のノウハウを、タイの文化やマーケットに合うように導入するために、マーケット調査、タイ保健省やその他関係者、専門家とのディスカッションを進めていく必要がある。
- メディカル分野のみではなく、ウェルネスとしての理学療法（リハビリ）のニーズも把握することができた。
  - ウェルネスにおけるリハビリテーションの分野の拡大も視野に入れて進めていく必要がある。
- 理学療法士委員会はタイ保健省の人事体制の変更により開催されなかったが、作成した育成プログラムについて意見交換を行い、継続して検討していくことで合意した。
  - タイにて日本式の理学療法士を育成するために、初動段階から参画をしているが、今後も保健省による理学療法士委員会の開催が大きく遅延するような場合には、民間との連携についても視野に入れて進めていく必要がある。

VI.

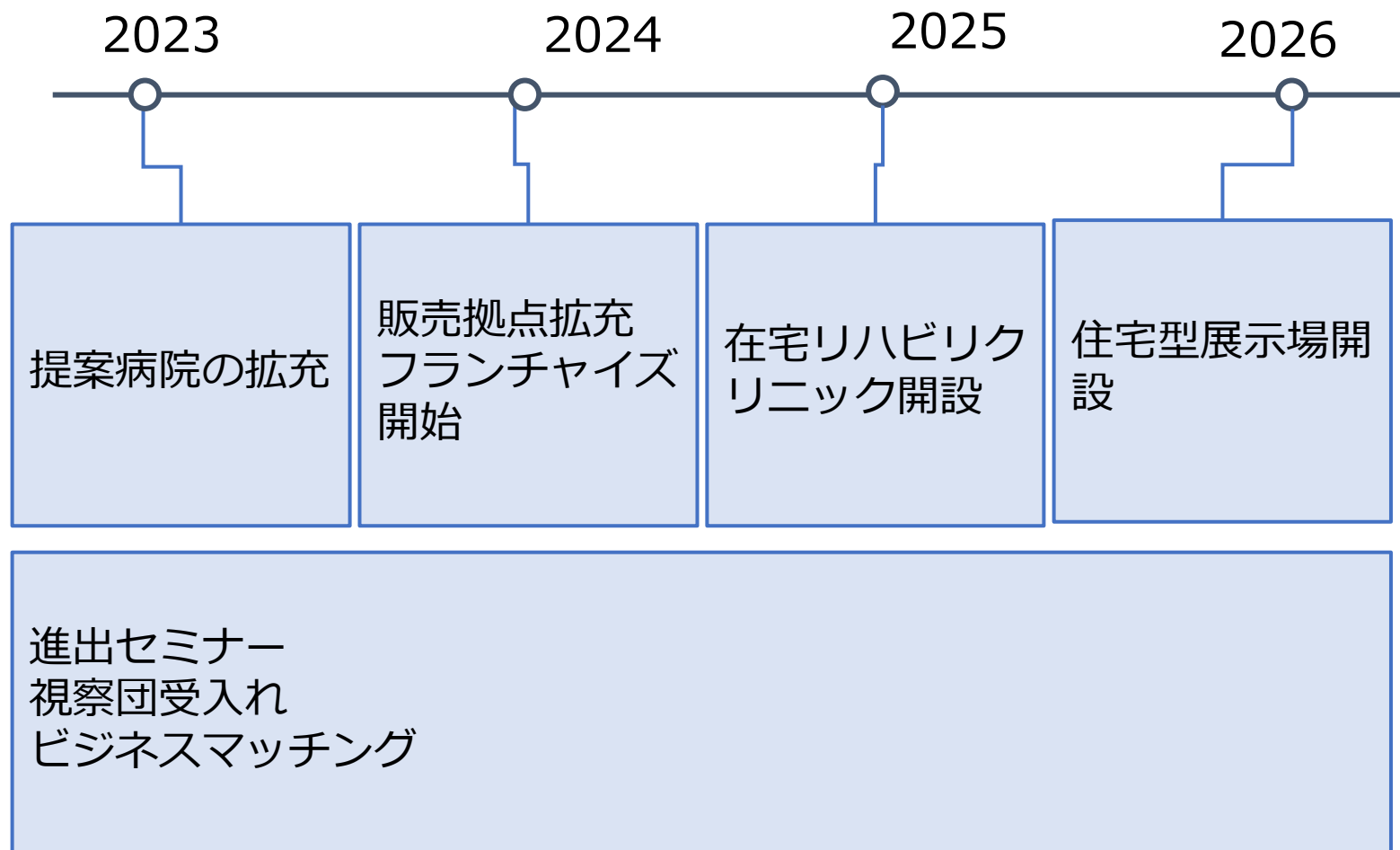
# 今後の展望

(本補助事業後の活動計画)

## 代表団体・参加団体の今後の活動計画

- セラピストを介した販売拡大スキームの活動の拡充
  - 本年度事業で成果を得た販売スキームの提携病院の拡充
- 展示・販売拠点の拡大
  - 現在2箇所の展示・販売拠点をバンコク市内で拡大
  - 地方都市へのフランチャイズビジネスを開始
  - リアルな住宅型展示場開設
- 在宅リハビリクリニックの開設
  - 製品販売後に追加購入を促すための在宅派遣型リハビリクリニックの開設
- 日本からの進出希望企業の継続サポート
  - 進出セミナー
  - ビジネスマッチング
  - 視察団受入れ

## 代表団体・参加団体が受ける今後の事業プロフィット（3－5年）





## 補助事業で実施した事業の収支計画（3－5年）

収入	2023	2024	2025	2026
	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
収入				
製品販売収入	1,500,000	3,500,000	7,000,000	12,000,000
サービス収入（ビジネスマッチング・視察団受入など）	3,000,000	4,000,000	6,000,000	8,000,000
フランチャイズ会員費収入	0	300,000	1,500,000	2,500,000
クリニック収入	0	0	0	1,000,000
収入合計	4,500,000	7,800,000	14,500,000	23,500,000
支出				
販売製品原価	750,000	1,750,000	3,500,000	6,000,000
営業活動費	1,500,000	1,500,000	2,500,000	2,500,000
人件費	2,400,000	3,600,000	5,000,000	6,000,000
レンタルオフィス賃料	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
クリニック賃料	0	0	6,000,000	6,000,000
支出合計	6,650,000	8,850,000	19,000,000	20,500,000
損益	-2,250,000	-1,050,000	-4,500,000	3,000,000

\*単位=日本円

## VII.

# 調査結果詳細

本補助事業で調査した調査結果情報

## 日本企業からのタイ進出アンケート調査結果

JASPA会員企業（約6社）への聞き取り、及びタイで実施した民間病院・高齢者施設リハ室向け展示会（日本人セラピストによるセミナー併設）において、出展した日本企業・出展を検討している日本企業（9社）からのアンケートにより調査した。

### ■ 調査結果

- 信頼できるパートナー、または販売代理店を探すことが最も困難であると同時に、最も必要なことである。
- タイ進出への課題として、言語の違い、文化・商習慣の違いが大きいのはもちろんだが、社内人材の確保が最も困難である。
- タイでテストマーケットを実施し、ポテンシャルの高さが確認できれば生産拠点をタイへ移したい。
- 実際の現場視察の後に、現在把握している情報とのギャップを認識することができ、定期的に現場視察を検討したい。
- 中国企業の進出が著しく、グローバル企業としてどのように現地で差別化するかが大きな課題であると考えた。

### ■ 考察

- 言語の壁が大きく、特にタイでは母国でのコミュニケーションでないと情報量が激減するため、現地において日本とタイの両方の文化を深く知り、言語の堪能な人材を確保することが非常に重要であると考えられる。

## タイ企業から日本企業への期待アンケート調査結果

タイで実施した民間病院・高齢者施設リハ室向け展示会（日本人セラピストによるセミナー併設）において、参加したセラピスト（約25人）からのアンケートにより調査した。

### ■ 調査結果

- 「ハード（製品）」ではなく、「ソフト（ノウハウ）」の提供を通じ、日本とタイの強みを活かしたソリューションを強く期待している。
- 日本で成功したモデルをタイ風にカスタマイズしたものを提案してほしい。
- 日本製品は価格面でどうしても制約があるため、他からの投資とセットで提案いただけると現実的に検討しやすい。
- 中国製と比較すると、中国製にはある程度の機能はもちろん備わっている中で、コスト面でのインパクトがあるが、それに対抗できる日本独自の差別化ポイントを期待している。
- 日本製品の精密さ、繊細さはこれからも期待している。

### ■ 考察

- タイでは「モノづくり」の環境はある程度整っているため、「ハード」ではなく「ソフト」の提供がより魅力的であると考えられる。
- 通常業務におけるコミュニケーション、マニュアル対応など言語の障壁は依然として大きな課題である。

## タイの理学療法士育成に関するヒアリング（タイ保健省）（1/2）

### ■ 政府指針

- 「Health for Wealth」の方針のもと、医療産業の拡大を目指す。
- EEC（東部経済回廊）と、タイ全国の観光資源を繋ぐ「Wellness Route」を形成。

### ■ 国立・公立大学病院の発展

- シリラート大学病院やラマ大学病院などが、特別寮棟の建設やTele-medicine（遠隔診察）など、サービスを発展。

### ■ 地方の健康管理政策「Family Medicine」

- 30バーツ（約120円）による健康診断サービス
- 市町村（地方）への健康管理団の各自宅への派遣（保健省から各自治体へ権利譲渡）
- 必要であれば医師のアポイントメント
- 住宅介護の医療機器は「最低限」揃っているのが現状である。
- 格差の大きい地方住民にも、広く提供できるサービスに保健省は取り組んでいる。

（例：10バーツの大人用オムツの開発プロジェクト）

## タイの理学療法士育成に関するヒアリング（タイ保健省）（2/2）

- 地方における課題は、メンタルヘルス、入れ歯や差し歯、大人用オムツの普及など。
- （参考）理想的なのは、住民全員が使用できるヘルスチェック機能付きのウェアラブルなど。タイにおける「メディカル・ウェルネス（Medical Wellness）」とは何か。
- 以下の4つで構成されるサプライチェーンの構築
  - ①健康増進、②予防、③治療、④リハビリテーション
- 上記のサプライチェーンを上手に活用している事例がBDMS（Bangkok Dusit Medical Services）である。
- 温泉、ヨガ、観光などのコンテンツは付加価値となる要素である。
- 病院だけでなくクリニックでの健康診断やリハビリテーションを普及させることにより、国民が自身の健康へより簡単にアクセスできるシステムを構築する。
- 高齢者分野において信頼性があるのは日本、イタリア、オーストラリア。後二者は遠方で、価格も高いため、日本に期待している。
- 予防に関するテクノロジー発展・指導・コンサルタント



## メディカルタイマッサージ師の役割、養成状況

- タイマッサージの資格にはリラクゼーションを目的としたマッサージを提供するタイマッサージ師とメディカルタイマッサージ師の2つが存在している。

メディカルタイマッサージ師は医師の処方により病院で提供され、タイマッサージは一般の店舗で提供される。タイメディカルマッサージはリハビリテーションと同様に、セラピストによる評価（視診、問診、触診、脈診）結果と他の検査結果（血液検査など）を確認し、患者に適したマッサージやハーブの提供、食事、生活、運動指導を行う。メディカルタイマッサージ師は治療プランを作成するのみで、実際の施術はタイマッサージセラピストが行う場合が多い。

主に予防を目的としているが整形疾患や脳卒中後遺症の患者に提供することもある。

- メディカルタイマッサージ師の養成について

- メディカルタイマッサージ師：

Chinese medicine学部で4年間教育を受ける。大学によってカリキュラムは異なるが、2年生までは医学部と同じ教育を受け、解剖学、生理学、病理学など基礎医学を学び、その後、2年間かけて、マッサージやハーブについて教育を受ける。他医療職種と同様に病院での実習も行う。

















- タイマッサージ師の養成カリキュラム

- 情報が無く、特に教育制度やカリキュラムはないものと思われる。

# NCDsリスクファクター（ASEAN、G7との比較）（1/2）

## ■ NCDsリスクファクターの国際比較

タイの非感染性疾患リスク（NCDs）は、ASEANでは最も高く、G7並みのリスクが存在している。

																
	タイ	シンガポール	インドネシア	マレーシア	フィリピン	ベトナム	ブルネイ	カンボジア	ラオス	日本	アメリカ	カナダ	フランス	イギリス	ドイツ	イタリア
NCDs死亡率 (%)	74	74	73	74	67	77	85	64	60	82	88	88	88	89	91	91
塩 (g/day)	13	13	9	9	11	12	11	11	11	12	9	9	10	9	9	11
タバコ (%)	21	16	39	22	24	23	17	15	27	20	21	14	28	21	27	22
高血圧 (%)	25	17	22	21	19	22	18	23	19	27	16	17	29	20	28	30
DM (%)	10	9	7	10	6	5	9	6	6	10	9	7	8	8	7	9
肥満 (18以上, %)	11	7	7	15	6	2	15	4	5	4	37	31	23	30	26	23
肥満 (10-19, %)	10	6	5	11	3	2	12	3	4	3	21	11	7	9	8	10
タバコ (傾向)	減少	なし	増加	減少	減少	なし	増加	減少	減少	減少	減少	減少	減少	減少	減少	減少
肥満 (傾向)	増加	なし	増加	増加	なし	なし	増加	増加	なし	増加	増加	増加	増加	増加	増加	増加
高血圧 (傾向)	増加	減少	なし	なし	なし	増加	増加	増加	なし	なし	なし	減少	減少	減少	減少	減少

## タイにおける高齢化に付随する課題

### ■ 認知症高齢者数の倍増<sup>1)</sup>

2020年には651,950人とされている認知症を患う高齢者は、2040年には1,396,472人と倍増するとされている。

### ■ 寝たきりの高齢者数の増加<sup>2)</sup>

2020年には43,520人とされている寝たきりの高齢者は、2030年には153,00人と10年間で約3倍にまで達するとされている。

### ■ 独居高齢者の増加

総人口に占める独居高齢者の割合は11.0%（130万人）、配偶者と居住する高齢者を合わせると380万人が独居高齢者または高齢者の2人暮らしである<sup>2)</sup>。

### ■ 高齢者の生活資金不足

高齢者の半数以上が、退職後の生活を維持するための資産が十分ではないと感じており、約65%が保有資産10,000USD（≒390,000THB）以下である<sup>3)</sup>。

出所：

1) SITUATION OF THE THAI ELDERLY 2020 Projection of the Number of Elderly in Different Health States in Thailand

2) 熊谷 章太郎 (2019).急速な高齢化への対応を進めるタイ

## タイにおける在宅分野の介護スタッフ（1/3）

### ■ 介護（看護助手/介護士）に関連する人材

高齢者介護を行う職種として、介護施設では、看護師、准看護師(アシスタントナース)、介護士（ナースエイド）によって介護が行われる。また、2011年に労働省や保健省などの関係省庁と民間事業者が介護労働者について、「プー・チュアイ・ドゥーレー・プー・スン・アーユ(ケア・アシスタント)」という名称に決定した<sup>1)</sup>。また、要介護者の増加に対して、バンコク都としても緊急措置として介護実習生を募り約3,000 人を養成した<sup>2)</sup>。

職種別人材需要傾向は、看護師・看護助手は2007年～2014年で16%増加、介護士は2007年～2014年で18%増加しており、専門的ケアサービスの需要が拡大している。一方で、使用人(メイド)は2007年～2014年で13%減少しており、専門的なケアサービスの増加に反比例して、介護分野での使用人の需要は減少している<sup>3)</sup>。

出所：

1) エフビー介護サービス(2019) タイにおける高齢者地域包括ケア拠点構築プロジェクト

2) 車井(2011) タイの高齢者介護と医療に関する考察

3) JICA(2018) 介護施設運営・福祉用具事業・人材育成事業に関する有効性、採算性の基礎調査

## タイにおける在宅分野の介護スタッフ（2/3）

### ■ 介護士(ナースエイド、N/A)

タイの高齢者介護の現場で働く介護士はナースエイド(NA)と呼ばれる。ナースエイドは准看護師(アシスタントナース)や看護師(ナース)とは違い、国家資格ではなく、専門学校の修了証書をもっている者と一般に認定されている。2011年の私立医療機関に勤務するナースエイドは1万8,286人である。

#### 【養成校/教育/資格取得】

- 2009 年策定された420時間のカリキュラムでは、健康面に焦点を当てており、主に民間介護事業者で働く介護提供者の養成を念頭に置いている。
- ボランティア経験者については 420時間のカリキュラムのうち専門的な 70時間の研修(高齢者介護法、緊急時の対応、薬の与え方等)の後、介護提供者としての認定が受けられる。
- 介護人材養成カリキュラムについては 保健省のほかにも労働省、教育省でそれぞれ策定されているが、重点を置く事項が少しずつ異なっている<sup>2)</sup>。
- 2014 年の調査結果では、小学校卒業学歴の介護士が全体の60%、中学校卒業が 12%、高校卒業が 12%、職業学校または、それ以上の学歴が 16%であった<sup>1)</sup>。（学歴はナースエイド（NA）の専門学校修了前の学歴のことを指している。）
- 介護士のための専門学校は多くが地方にある。6カ月間のカリキュラムの内、最後の2カ月間は OJT で現場研修することが一般的である<sup>3)</sup>。

出所：

1) JICA(2018) 介護施設運営・福祉用具事業・人材育成事業に関する有効性、採算性の基礎調査

2) JICA(2013) 要援護高齢者等のための介護サービス開発プロジェクト

3) JETRO(2018) HEALTHY LIFESTYLE Bangkok edition

## タイにおける在宅分野の介護スタッフ（3/3）

### ■ 保健ボランティア

保健医療に関わる補助的な人材として、農村部を中心に約100万人の保健ボランティアが養成され、地域住民の健康づくりや感染症予防の啓発活動などに従事している<sup>1)</sup>。

主な有償/無償ボランティア制度として、保健省管轄の保健ボランティア、社会開発・人間の安全保障省管轄の高齢者在宅ボランティアと社会開発・人間の安全保障ボランティア、国民医療保健事務局（NHSO）管轄のケアギバー（70時間の研修）がある<sup>2)</sup>。

#### 【養成校/教育/資格取得】

- 高齢者ボランティア養成<sup>7)</sup>は2006年からプロジェクトベースで行われている事業であり、50歳以上で、高齢者の日常生活支援や行政等との連絡を行う者としての養成を行う。

#### 【就労先/勤務形態】

- ボランティアには月300バーツの報酬が支払われるが、この措置は2011年度までであり2012年度からは報酬が支払われるかどうかは市町村の判断によることとなった。2006～2011年までの間に高齢者ボランティアは3万7,000人養成された。

### ■ ケア・ワーカー<sup>3)</sup>

タイ保健省は地方における要介護高齢者の10%にあたる10万人の介護を目標に、地域レベルでの介護人材の養成に乗り出している。保健省は介護にあたる人材として、ケア・マネージャー(Care manager)とケア・ギバー(Care Giver)の育成プログラムを策定した。2016年までにケアマネジャー3,802名、ケア・ギバー2万7,696名を育成した<sup>3)</sup>(ケア・ギバー1名につき、高齢者7名から10名が割り当てられ、ケアマネジャー1名がケア・ギバー4名から5名を管理するシステムである)。

出所：

1) 厚生労働省(2020) 東南アジア地域にみる厚生労働施策の概要と最近の動向

2) 三好(2021) タイにおける高齢者介護システムの現状と課題 低・中所得国における制度構築に着目して

3) JICA(2013) 要介護高齢者等のための介護サービス開発プロジェクト

## タイにおける在宅分野の医療・介護スタッフ（1/2）

### ■ リハビリテーションスタッフへのヒアリング(1)

A1.訪問リハビリテーションで勤務する理学療法士

A2.リハビリテーションセンタースタッフで勤務する作業療法士

**Q. 在宅分野の理学療法士（リハビリテーションスタッフ）の数が足りていないという認識はあるか？**

A1. 患者とセラピストの数のミスマッチで足りていないと認識している。エクササイズを自身で行ってもらうなど行き渡ったサービスができていない認識している。病院などに比べ在宅領域では特にスタッフが不足している。

A2. 病院ではタイにPT2万人、OTが1500人いてすでに足りていると考えているが、少ないスタッフでできるだけ多くの患者を診ることができるような運用をとっている。

**Q. 訪問リハビリテーションを始めるときはどのように始めるのか？医師から依頼されるのか？また終了するとき、時間や回数を変更するときはどうに決めるのか？**

A1. 医師からのオーダーはないこともあり、いくつかのパターンがある。Drから入院中にアドバイスをもらい、患者さんが退院後に自身でPTを探し、医師から言われたプログラムをPTが行う。またはPTが評価しながら患者さんと一緒にプログラムを立てるパターン。

A2. 在宅医療は法律が決まっていないので、企業が独自でサービスを提供している。

**Q. 訪問リハビリテーションスタッフと医師、介護士の連携はどのように行うのか？**

A1. 入院中のPTと訪問PTの連携は全くない。時間・回数も訪問スタッフと患者さんで決める。かかりつけ医師、自宅の介護士への情報共有も基本的でない。患者さんとの直瀬的なやりとりで情報を収集する。



## タイにおける在宅分野の医療・介護スタッフ（2/2）

### Q.訪問リハを行うときの情報共有とリスク管理の方法は？

A1. カルテなどの情報共有シートはなく、対外的に共有するためのものではなく自身のメモ用に、評価、治療内容、進捗管理について書面に記録する。

### Q.福祉用具選定・家屋調整の依頼がきた場合の対応手順とリハビリテーションスタッフの役割は？

A1. 福祉用具について、病院行けない人は、保険適応なので理学療法士が選定して渡す。自費で保険が適応しないケースは店の紹介をする程度で具体的な仕様などは伝えない。家屋改修について、具体的な提案内容で改修案を提示するが、お金の問題、時間の問題などで実際は大規模改修することは少ない。

A2. シーティングは入院中から実施する。福祉用具などは必要なものを給付できるものはする。購入するのは家族が購入する。施設内のユニバーサルデザインエリアを紹介し家屋改修などの参考にしてもらうこともある。家屋調整は写真を撮ってもらい、アドバイスを行う。病院近くに住み患者さんが独居であれば訪問することもある。

### Q.新卒のリハビリテーションスタッフに対する病院・組織内での卒後教育制度はあるか？

A1. 新人教育はない

A2. シリントンリハセンターで毎年2回、3-5日のトレーニングコースを行う。毎年テーマを決めて各施設から参加者を集い開催する。同じ患者さんを担当しながら教育することはない。

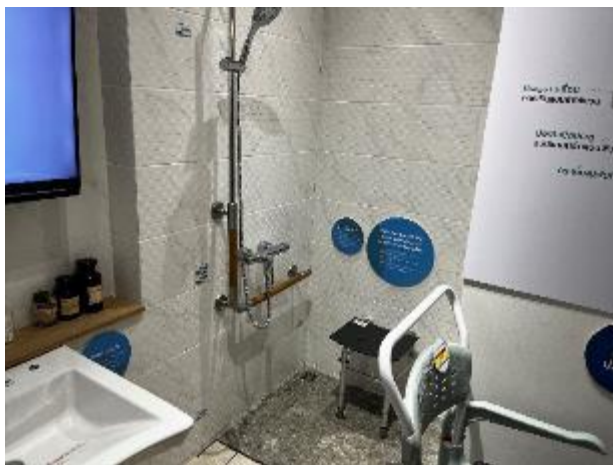
### Q.タイマッサージセラピストにPTの知識や技術を教えることでPT不足を解決できないか考えている。そのような新たなセラピストが生まれることについてどう思うか？

A1. 理学療法士の持っている知識、技術にて評価、治療している。患者さんの能力、最大能力をどこまでできるかが評価しきれないのではないかと。トレーニング期間にもよるとは思うが差を感じる。

タイマッサージセラピストが実践するとすればPassive、Active ROM（Range of Motion）くらいならいいのではないかと。

## タイにおける住宅改修用品の販売店（1/2）

### Chivit-D by SCG

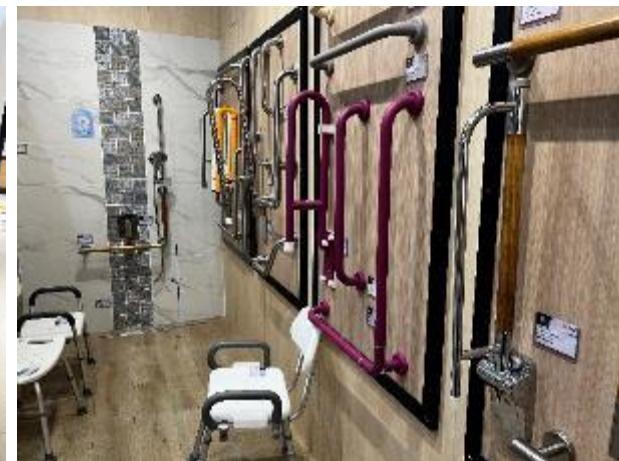


- ショッピングモールに入る、60歳以上向けの介護福祉用具、住宅改修機器販売店
- 動画で改修後の様子などを場所別に表示し、リフォームの提案を行っている。
- 商品も多く、街中のドラッグストアでは見かけないベッドサイドテーブル、置き型手すりも取り扱う



## タイにおける住宅改修用品の販売店（2/2）

### SCG HOME Experience



- リフォーム展示場の一角にユニバーサルデザインエリアあり。
- 介護用品、見守り機器、心電図計なども取り扱う。
- 段差解消リフト、スライドドアなどの展示有り。

## タイの高齢者向け施設紹介：Naya Residence（1/4）

### ■概要

- オーナー兼医師として、部屋や運営などをマネジメントしている。
- マンション2棟、ホテル1棟が20年前から運営されていた。2021年にホテル棟の4-10階の空きスペースをレジデンスにリフォーム
- 現在は、レジデンス70部屋、ホテル130部屋で運用中。レジデンスは2022年1月にオープンし10部屋埋まっている。
- 施設内にプール、テニスコート、ジム2、船着場、レストランなどあり。
- 料金は1ベッドルームで5万バーツ（65平米）、2ベッドで6万バーツ、5年契約10年契約で1万バーツくらい安くなる。
- 賃貸は期間で契約、WIFI、部屋の掃除、スポーツクラブなどの料金を含む。別棟のマンション利用者はレジデンスの会員となり、サブスクでNayaのサービスを利用することができる。ゆくゆくはNayaへ転居することも選択肢
- ペットは犬や猫など小さければ同居ok
- シニアレジデンスとしてタイで初の登録、リハ施設としても登録している。
- Eldercare Innovation Awards2019取得
- 銀行と開発中の介護保険を実証している

### ■スタッフ

- スタッフは看護師24時間ケアセンターに常駐、PT・栄養士は日中のみ。個別の介護士や看護師を雇うことが多く、PTが看護師に教えることが多い。医者が各患者を見ている。フィットネスのインストラクターは系列のフィットネスジムから派遣

## タイの高齢者向け施設紹介： Naya Residence （2/4）

### ■生活

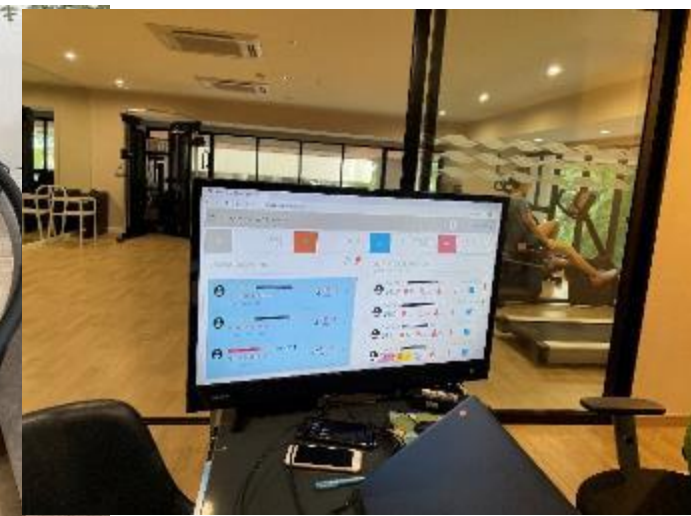
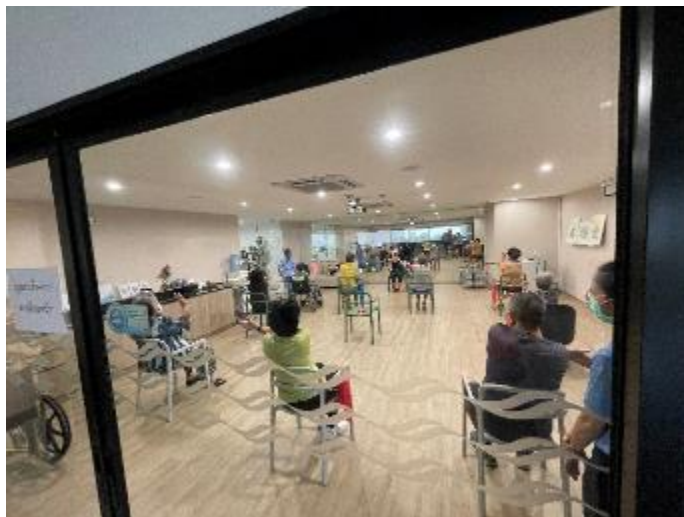
- フレイル予防を意識して運動、栄養、社会参加の機会を多く作っている。高タンパク食やコグニサイズも導入している
- 入居者がかかりつけ医で年1回受ける健康診断の結果は施設に共有される。
- 入居者が病院にかかる場合は生活する中で記録されている運動量やバイタルサインを病院に情報提供する。
- 基本的に高齢者だが自立している人を受け入れており、介護が必要になったら施設へ転院となる。転院時に情報提供する
- 毎日エクササイズや工芸（Naraの粘土手芸）などのイベントが開催されてる。
- 「バイバイ車椅子プロジェクト」など車椅子に頼らないようにするイベントを実施、看護師、リハ、患者と徐々に段階的に高める。
- 食事内容は高血圧、糖尿病の人はだいたい何を食べたらいいか知ってる。スポーツクラブにレストランがあり情報共有、特別食提供するレストランとも共有してる。嚥下食が必要な人はまだいない。タンパク質の付加を麺や粉として提供が可能。問題なければ自分で作るかクラブからオーダー、体組織計やVital情報から問題があれば食事内容は調整する。

### ■IT

- SCGの子会社でウェルネスをやってるDoCareのシステムを入れている。
- 持ち運び可能でGPS入りのナースコールがある。それを持っていれば転倒、不動検知、睡眠時間、コール、電話が可能で、異常があった場合、常駐看護師から救急システムへの連絡対応が可能。
- 血圧、血糖、体重、運動量もBluetoothでダッシュボードへ共有、夜間トイレが頻回な場合など看護師がアクションプラン作成。
- 上記を患者ごとのレポートを医師の診察時に提出する。年間の健康診断は行きつけの主治医、月ごとに相談を行う。
- システム値段（ベーシック：モバイルコール、コール、センサー）で1ユニット1200バーツ/月、購入できるがアップグレードが必要なので、サブスクリプションにしている。
- プライバシーの問題で使っていない人もいる。ペンダント式のセンサーが必要となるため、非接触センサーの需要はあるかもしれない。



## タイの高齢者向け施設紹介： Naya Residence (3/4)





## タイの高齢者向け施設紹介： Naya Residence (4/4)





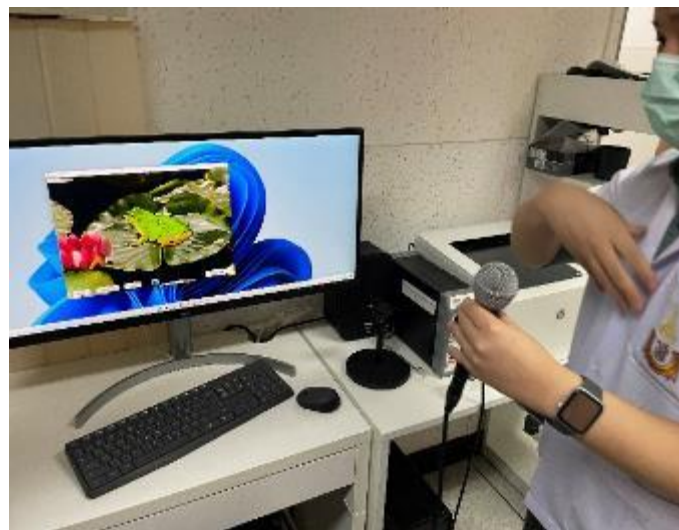
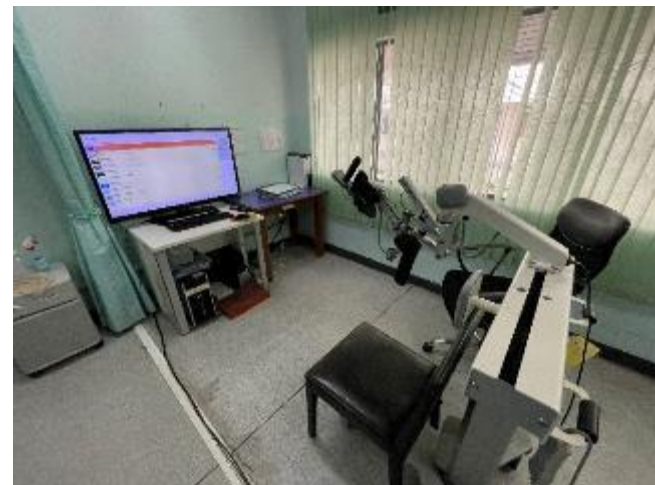
## タイの高齢者向け施設紹介：シリントンリハビリセンター（1/4）

病院情報	概要	1991年に設立された国立病院であり、リハビリテーション医療に特化した臨床・教育機関である。保健省の下部の人間安全保障省に所属している。主に障害者に対するリハビリテーションを行っているという情報だったが、実際には病後の方含め全般的にリハビリテーションを提供している。保健省直下の人間安全保障省の管轄になっている。
	診療科	10デパートメント（ <a href="http://www.snmri.go.th/en-contact-us/#">http://www.snmri.go.th/en-contact-us/#</a> ）
	スタッフ数	PT30人、OT25人、PTアシスタント30人、ST7人（ラマテボディ病院はタイで一番STが多い）
	入院・外来数	入院患者（60床）にもリハビリテーションが提供 1日の外来患者数はおおよそ400名、うちリハ適応患者は200名 午後はSpecial investigation（嚥下障害や呼吸器障害など難症例用の外来をOPEN）
	医療設備	VR技術を用いたリハ機器（歩行・バランス練習、ドイツやスイス製のものがほとんど、Hocoma,Biodex） 運動療法室、義肢装具室、デイケアサービス施設、ヨガ施設、音楽療法施設も併設 50万THB以下の機器は病院の決裁にて購入、50万THB以上の場合。MOPHへ申請が必要（こちら申請して通過しているのは現状シリントン病院のみ） Hocoma、免荷式トレッドミル、Hydro歩行トレッドミルなど各機器3-5人/日ほど 1F：StrokeのIPD/OPDリハ 2F:SpineのIPD/OPDリハをエリア区切って実施 他、ST室（PCでのST練習：4500THBほど）、デイケアなど、MT（P,Oが集団で行う） ATroom
	価格帯	患者さんは保険で無料で受けられる。 ロボットを使った治療2500パーツ/時、水治療法1200パーツ/時
	スタッフ給与	1.8万THB

# タイの高齢者向け施設紹介：シリントンリハビリセンター（2/4）

リハビリ	在院日数	1ヶ月入院(タイの保険上、1ヶ月しか申請できない。そのため1ヶ月終了後に一度退院し、再度申請して入院する方もいる。ただし待ち期間は1-2ヶ月、待ち期間は外来を利用する。)
	対象疾患	理学療法部門は、脳卒中、整形外科、脊髄損傷、小児、義肢装具、水治療法部門に専門の理学療法士が配置されている。
	リハ時間	PT、OT、音楽療法など1セッション1時間で構成されており、1セッションに3〜5人の患者と1人のセラピストが参加する。患者1日あたり3セッション程度実施する。
	急性期リハ	入院日数は保険の関係で1-1.5Mだが、回復期のリハの役割 入院後に評価、MTGし、予後、LTGなど検討、退院時にも指定フォームで評価を行う。
	家族指導	・シーティングは入院中から実施 ・福祉用具などは必要なものを給付できるものはする。購入するものは家族が購入する。 ・家屋調整は写真を撮ってもらい、アドバイスをを行う。近くで独居であれば行くこともある。 ・リハ中に家族を含めリハを実施し、伝えられることは伝える。
	在宅リハ	・退院後は3- 6 Mのフォローアップを外来にて行う。
	他	・地方での義肢装具普及活動 義肢装具を作成するための専用車があり、バンコク以外の地域で義肢装具の作成・修理を行っている。この活動には公的資金が用いられており、医療の偏在を解消するための支援として機能している。 ・装具 外来にて1週間で作成可能、他にインソール（フットプリント、圧力コピー、3Dスキャンで作成可能）、障害手帳と医師からのオーダーがあれば費用はなし。義肢装具は週に50件ほど ・就労支援 障害者向けの職業訓練所は労働省管轄となっており、看護師やソーシャルワーカーが情報共有することはあるが、労働省管轄で区分が違うため、行うとしても看護師、ソーシャルワーカーが情報伝達する程度 ・e-Learning How to take disability care : Mobility,Vison,Hearing,ADHD,LowIQなど7つのコンテンツでタイ国内の医療・介護関連者に向けた講義で受講後にサーティフィケーションが出る。 ・卒後教育 シリントンリハビリセンターで毎年2回、3-5日のトレーニングコースを行う。毎年テーマを決めて各施設から参加者を集い開催する。 ・スタッフの過不足について 肌感的には今タイにPT2万人、OTが1500人いてすでに足りていると考えている。 PTの大学は10以上、OTは2しかない。 ・シリントンリハビリセンターのリハビリテーションセンターのOT EAD（イーさん）から聴取 今、理学療法士の規制がタイ国内では強くリハリストップ以外はリハビリを行うことができない。 アフターケアは家族が行う事が多いが、タイは共働きが多くて、外部から雇う必要があるが、それが高くて雇えない。 在宅医療は法律が決まっていないので、企業が独自でサービスを提供している。 月20000バーツ/月、週6日、住み込み、免許も何もない人。 素人に5日間リハビリや介護について教える政府の制度もある。B to C バイトは80バーツ/時 1日5件回って300バーツ。タイの最低賃金が300バーツ。田舎のボランティア制度をサポートする制度。 独自のFIMを作成中 <a href="#">SNMRC Functional Assessment.pdf</a> スタッフがICAのプログラムで10人ほど半年間兵庫県立リハセンターで研修を行った。
	価格	患者の支払いは無料、保健省から病院に1人150THB入る。

## タイの高齢者向け施設紹介：シリントンリハビリセンター（3/4）





## タイの高齢者向け施設紹介：シリントンリハビリセンター（4/4）



VIII.

# Appendix その他附録資料

## セラピスト紹介販売スキームの実施結果

- 総売り上げ = 205,600 THB (約822,400円)
- 問い合わせ件数 = 14 件
- 販売件数 = 5 件
- 販売個数 = 7 Piece

### ■ 販売商品

- GEMINO 30 WALKER = 2
- FR-31TR/B-16\*50 = 1
- NEXT-51B/F-2\*46 = 1
- GEMINO 30 PINK = 1
- SW-21W PINK = 1
- SL3D/C-4\*46 = 1

# セラピスト紹介販売スキームでの来客に関するヒアリング結果

## ■ 顧客側

- 病院で使っているものをそのまま購入できるため、安心感がある。
- その場で丁寧に説明して頂けるのは助かるし、安心感がある。

## ■ セラピスト側

- セミナーで商品説明を聞いているため、患者へその場で提案ができる。
- セミナー内の紹介事例（姿勢改善）と患者の症例が合致した際、すぐにMatsunaga製品を想起する。
- 何かあった時にすぐ連絡が取れるのは利便性が高い。

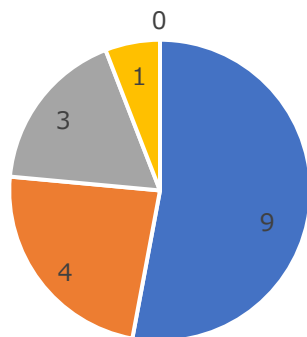
## ■ 考察

- セラピストへのブランディングが強化でき、想起して頂けるようになった。
- セラピストとの関係構築がスムーズになった。



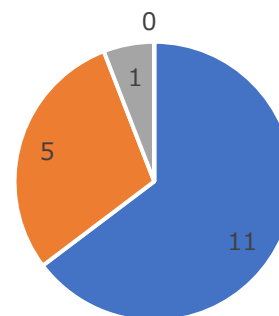
## 車椅子再発見プロジェクト受講者アンケート結果（1/4）

セミナーの長さ



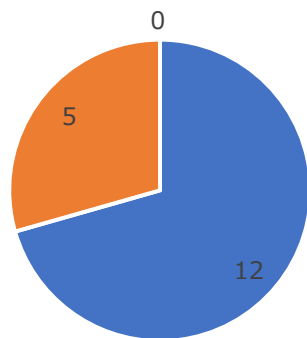
■ とても良い ■ ちょうど良い ■ どちらでもない ■ 長い ■ とても長い

セミナー理解度



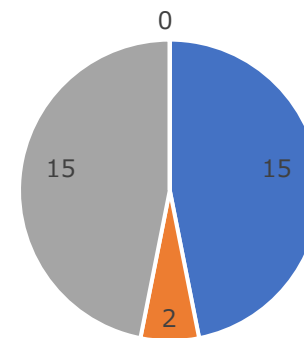
■ とても理解できた ■ 良く理解できた ■ 理解できた  
■ 良く分からなかった ■ 全く分からなかった

興味関心



■ とてもある ■ まあまあある ■ どちらでもない ■ ない ■ 全くない

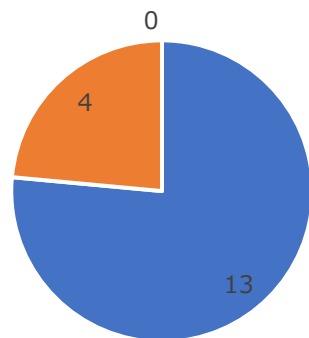
セミナー内容の応用度



■ とてもある ■ まあまあある ■ どちらでもない ■ ない ■ 全くない

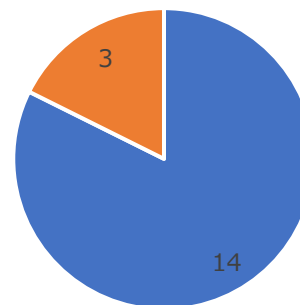
## 車椅子再発見プロジェクト受講者アンケート結果（2/4）

セミナーの役立ち度合い



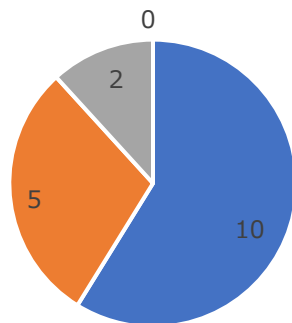
■ とてもある ■ まあまあある ■ どちらでもない ■ ない ■ 全くない

”\*1 屋内スロープ” 認知度



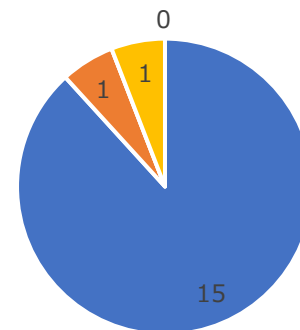
■ 知っている ■ 知らない

言語の理解度



■ とても理解できた ■ 良く理解できた ■ 理解できた  
■ 良く分からなかった ■ 全く分からなかった

”屋内スロープ” は役に立つと思いますか？

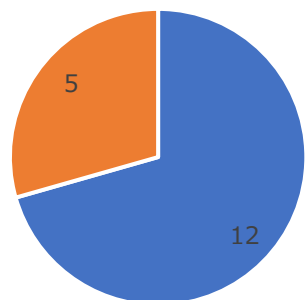


■ とても役に立つ ■ まあまあ役に立つ ■ どちらでもない  
■ あまり役に立たない ■ 全く役に立たない

\*1「屋内スロープ」屋内の通路や廊下の段差（高低差）をなくすために置く斜めの板のことを指す。

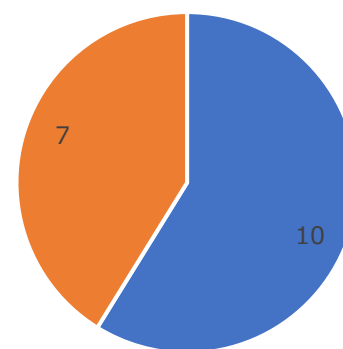
## 車椅子再発見プロジェクト受講者アンケート結果（3/4）

タイにおける“屋外スロープ”類似商品の認知度



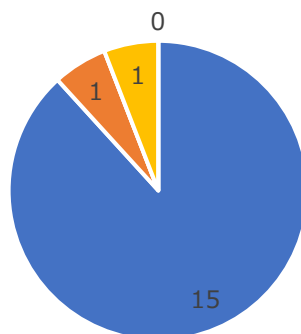
■ 知っている ■ 知らない

タイにおける"トイレ用手すり"類似品商品の認知度



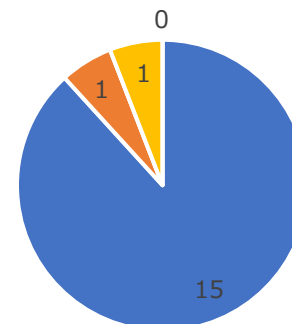
■ 知っている ■ 知らない

“屋外スロープ”は役に立つと思いますか？



■ とても役に立つ ■ まあまあ役に立つ ■ どちらでもない  
■ あまり役に立たない ■ 全く役に立たない

"トイレ用手すり"は役に立つと思いますか？

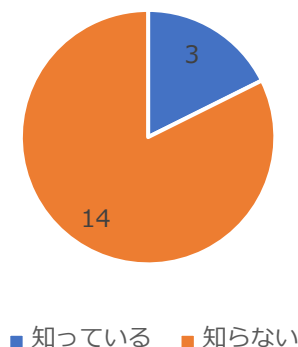


■ とても役に立つ ■ まあまあ役に立つ ■ どちらでもない  
■ あまり役に立たない ■ 全く役に立たない

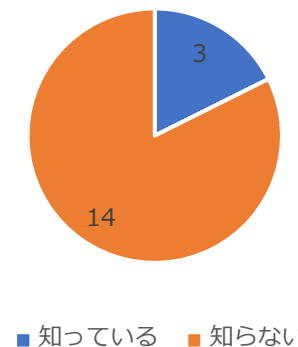
\*1「屋外スロープ」屋外の通路や階段の段差（高低差）をなくすために置く斜めの板のことを指す。

## 車椅子再発見プロジェクト受講者アンケート結果（4/4）

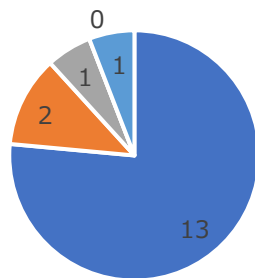
タイにおける"\*1 Hybrid seat Cushion (Gel+Urethane)"類似品商品の認知度



タイにおける“Panasonic Toilet Frame”（パナソニック製品の手すり付きトイレ）類似品商品の認知度

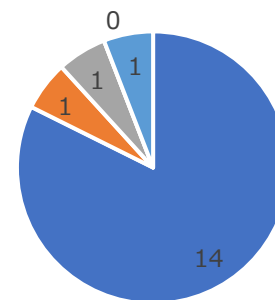


"Hybrid seat Cushion (Gel+Urethane)"は役に立つと思いますか？



■ とても役に立つ ■ まあまあ役に立つ ■ どちらでもない ■ あまり役に立たない ■ 全く役に立たない

Panasonic Toilet Frameは役に立つと思いますか？



■ とても役に立つ ■ まあまあ役に立つ ■ どちらでもない ■ あまり役に立たない ■ 全く役に立たない

\*1“Hybrid seat Cushion (Gel + Urethane)”：低反発のウレタンフォームをベースに、要所にゲル素材を組み合わせたサポート機能付きクッションシート。

## 福祉車両調査（1/2）

### ■ 会社名: CABB

- Joint with Zhejiang Geely New Energy Commercial Vehicle Group (GCV)

### ■ 利点

### ■ 乗客に個人的なスペースを提供するために設置されたパーティションスクリーン

### ■ 運転手と乗客はインターホンを介して通信

### ■ 最大5人の乗客を着席でき、車椅子でアクセス可能

### ■ USB充電器と無料のWiFi

### ■ 車のドアは90度開くことが可能

### ■ 環境にやさしいLPGエネルギーを使用

### ■ 全ドライバーが、最高のサービスを提供するように訓練されている。

### ■ 価格：

- Start: 60 baht
- 1st Km : 6-8 baht
- 2.5 baht/ minute during traffic jam
- 50 baht additional for Airports

## 福祉車両調査 (2/2)

### ■ 連絡先(予約)

- Counter Service
- Online Channels
- Telephone
- Insurance – Muang Thai Life Privilege
- Application - CABB



## 車椅子など福祉用具の購入可能性のある潜在顧客リスト (P.94～P.106に紹介)

1. Naya Residence at Riverine Village
2. Chersery Home Hospital
3. The Senizens
4. Kluaynamthai2 Hospital
5. The AspenTree at The Forestias
6. The Senior Health Care
7. Sunplay, Bangsaray
8. Scandinavian Village, Bangsaen
9. Vivo Bene Village, Doi Saket
10. Villa Meesuk, Chiangmai
11. Swan Lake, Khaoyai
12. Dusit Khaoyai
13. Trivananda Wellness, Phuket



# Naya Residence at Riverine Village

- Location:

173/1 Phibun Songkhram Rd, Suan Yai, Mueang Nonthaburi District, Nonthaburi 11000

- Website:

<http://nayaresidence.com/>





# Chersery Home Hospital

- Location:

20 45 Bang Waek Rd, Bang Waek, Phasi Charoen, Bangkok 10160

- Website:

<https://www.cherseryhome.com/>



# The Senizens

- Location:

448 อาคาร Sn1 38 Bang Waek Rd, Bang Waek, Phasi Charoen, Bangkok 10160

- Website:

<https://www.thesenizens.com/>



## Kluaynamthai 2 Hospital

- Location:

27 Sophon Alley, แขวง บางนาเหนือ Bang Na, Bangkok 10260

- Website:

<http://www.kluaynamthai2.com/>





# The Aspen Tree at The Forestias

- Location:

63, Bang Kaeo, Bang Phli District, Samut Prakan 10540

- Website:

<https://mqdc.com/discover-project/theforestias/registration/?lang=en#register>



# The Senior Health Care

- Location:

206/1 จันทระเกษม Khwaeng Chan Kasem, Chatuchak, Bangkok 10900

- Website:

<https://www.senior.co.th/>



# Sunplay Bagsaray

- Location:

No. 2, Moo 6 Soi Tessaban 12 bangsare Bang Sare, Sattahip District, Chon Buri 20250

- Website:

<https://www.sunplay.asia/>





## Scandinavian Village, Bangsaen

- Location:

8W39+3RP, Saen Suk, Chon Buri District, Chon Buri 20130

- Website:

<https://scandinavianvillage.net/>



## Vivo Bene Village, Doi Saket

- Location:

93 Moo baan Mai Rim Klong, Moo 9, T. A. Chiangmai, Luang Nuea, Doi Saket District, Chiang Mai 50220

- Website:

<https://www.vivobene.co.th/en/home>





## Villa Meesuk, Chiangmai

- Location:

V2F5+PMG, Tambon Nong Han, San Sai District, Chiang Mai 50290

- Website:

<https://www.meesuksociety.com/residences>



## Swan Lake, Khaoyai

- Location:

Rural Road NMA.3052 Pong Ta Long, Pak Chong District, Nakhon Ratchasima 30130

- Website:

<https://www.swanlakeresidences.com/>





## Dusit Thani, Khaoyai (Future Project)

- Location:

678, Moo 18 Moosi, Pak Chong District, Nakhon Ratchasima 30450

- Website:

<https://www.dusit.com/dusitd2->

[khaoyai/?utm\\_source=google\\_maps&utm\\_medium=seo\\_maps&utm\\_campaign=seo\\_maps](https://www.dusit.com/dusitd2-khaoyai/?utm_source=google_maps&utm_medium=seo_maps&utm_campaign=seo_maps)



## Trivananda, Phuket (Future Project)

- Location:

46, Thep Krasatti, Thalang District, Phuket 83110

- Website:

<https://trivananda.com/>





# メディカルタイマッサージ師へのリハビリテーション教育カリキュラム案 (保健省への提案内容) (1/4)

## ■ 基礎医学 (1)

中枢神経系	1	脳卒中とは (概論)	感染症	29	感染症とは
	2	脳卒中の症状 (身体)		30	髄膜炎(Meningitis)
	3	脳卒中の症状 (高次脳: 前頭葉機能、 半側空間無視、失認、失語、失行、記憶力低下)		31	傷部感染症(Wound infection)
	4	脳梗塞: 概要(Cerebral infarction: Summary)		32	肺炎(Pneumonia)
	5	脳出血: 概要(Cerebral Hemorrhage)	筋骨格系	33	肺結核(Pulmonary tuberculosis)
	6	急性硬膜外血腫: 概要(Acute epidural hematoma)		34	フレイルとは
	7	急性硬膜下血腫: 概要(Acute subdural hematoma)		35	認知症
	8	慢性硬膜下血腫: 概要(Chronic subdural hematoma)		36	サルコペニア
	9	くも膜下出血: 概要(Subarachnoid hemorrhage)	代謝系	37	慢性の関節痛
	10	頭部外傷		38	骨折 (よくある骨折)
	11	脳挫傷: 概要(Brain contusion)		39	緊張性頭痛
	12	脳震盪(Brain concussion)		40	褥瘡
	13	未破裂脳動脈瘤: 概要(unruptured aneurysm)	精神系	41	肥満(overweight)
	14	脳腫瘍		42	メタボリック症候群(Metabolic syndrome)
	15	脳膿瘍: 概要(Brain abscess description)		43	糖尿病(Diabit Melti)
	16	水頭症: 概要(Hydrocephalus summary)		44	脂質異常症(Hyperlipidemia)
循環器系	17	てんかん(Epilepsy)	検査系	45	高血圧(Hyper Tention)
	18	頸髄損傷(Cervical spinal cord injury)		46	貧血(Anemia)
	19	頸椎症(cervical spondylosis)	治療系	47	うつ病
	20	腰部脊柱管狭窄症(Spinal canal stenosis)		48	中枢神経系の検査 (CT、MRIの検査、血管造影、)
	21	腰椎ヘルニア(Herniated lumbar disc)		49	循環器の検査 (血管造影、冠動脈CT、心エコー、心電図、トレッドミル)
	22	内耳性めまい(Inner ear vertigo)		50	呼吸器、消化器 (レントゲン、腹部エコー、腹部CT、MRI、上部・下部内視鏡)
	23	機能性頭痛		51	脳外科の治療 (手術、コイル塞栓術、排膿術、脳膿瘍全摘術など)
	24	心不全(Heart failure)		52	骨折の治療 (創外固定、人工関節、プレート、内視鏡)
	25	狭心症: 概要(Angina pectoris)		53	循環器の治療
	26	狭心症・心筋梗塞: 治療【経皮的冠動脈形成術】(PCI)		54	リハビリテーション (概要、
	27	心筋梗塞(Myocardial infarction)		55	患者教育 (家族、禁煙)
	28	心房細動(Atrialfibrilation、PMIなど)			

# メディカルタイマッサージ師へのリハビリテーション教育カリキュラム案 (保健省への提案内容) (2/4)

## ■ 脳卒中基礎 (1)

リハビリテーション概論	1	リハビリ概論 (リハビリとは何か、ICF、プロセス、目的、プロセス、ADL概要、運動学習、クリニカルリーズニング)
	2	解剖学・生理 (脳、脊髄、運動・感覚経路、Hebb's rule、可塑性、運動学習)
	3	解剖・運動学 (筋・運動種類、名称、姿勢、基本動作、歩行)
情報収集	4	基本情報1 (疾患、現病歴、合併症、入院前ADL、)
	5	基本情報2 (社会的情報、環境、Needs、Hope
	6	基本情報3 (他職種情報、)、
	7	脳画像
	8	呼吸器 (胸部画像
	9	循環器 (心電図、エコー
	10	臨床検査 (採血、尿、in-out、
評価	11	バイタルサイン (BP、HR、SPO2、RR、KT、意識障害)
	12	ADL評価 (BI, FIM, mRS)
	13	バランス評価 (FAC, 10MWT, TUG, BBS)
	14	身体機能1 (Hemi: MMT,BRS, Barre, Mingazzini, Ataxia: SARA, Grip)
	15	身体機能2 (ROM, Sensory, DTR, Pain, 形態測定,mAS)
	16	身体機能3 (嚥下とスクリーニングテスト)
	17	高次脳機能1 (スクリーニング、認知症、記憶)
	18	高次脳機能2 (失語症、失行症)
	19	高次脳機能3 (注意、半側空間無視、失認)
	20	脳卒中患者の障害像1 (非麻痺側と麻痺側の関係性、片麻痺体験)
治療1	21	脳卒中患者の障害像2 (失調、パーキンソニズム)
	22	プログラム立案、ゴール設定、情報共有、まとめ
	23	運動療法 (効果、可塑性性、運動学習)
	24	リスク管理1 (中枢神経系)
	25	リスク管理2 (合併症、続発症)
	26	リスク管理3 (呼吸、循環、代謝系)
	27	ポジショニング
	28	ROM1 (上肢、肩甲帯)
	29	ROM2 (体幹、下肢)
	30	Mobilization



# メディカルタイマッサージ師へのリハビリテーション教育カリキュラム案 (保健省への提案内容) (3/4)

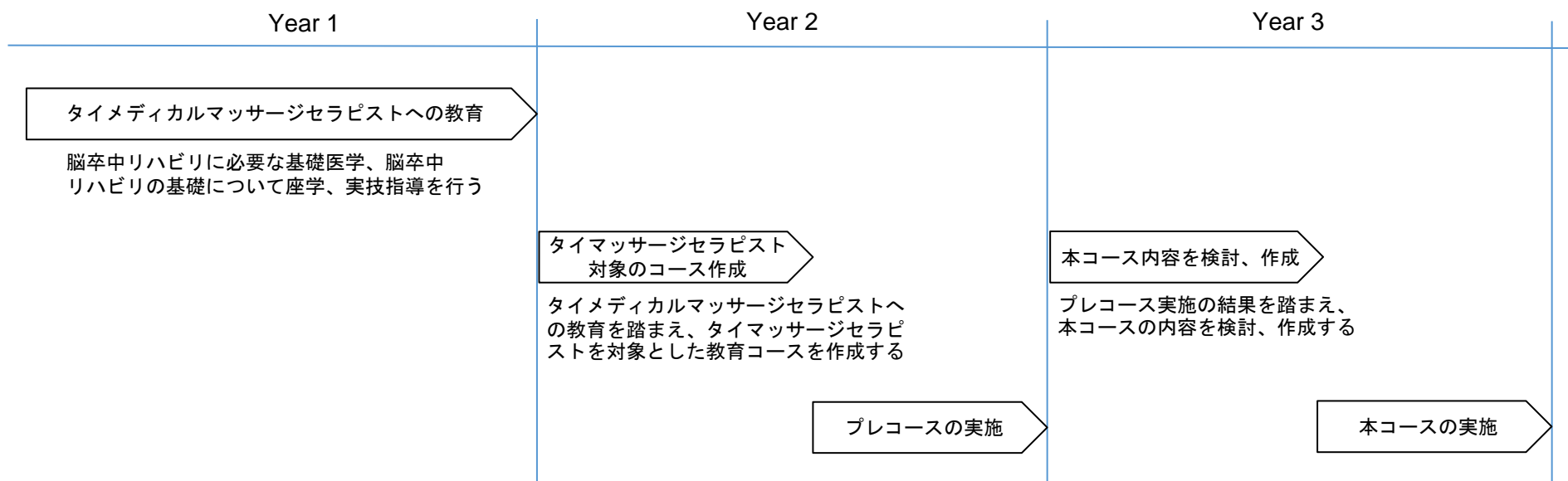
## ■ 脳卒中基礎 (2)

基本動作	31	背臥位、側臥位 (介助技術)
	32	寝返り、うつ伏せ
	33	起居、座位
	34	リーチング、上肢・手指
	35	立ち上がり、立位、着座
	36	移乗
	37	移動、歩行
治療2	38	整容・更衣
	39	トイレ
	40	入浴
	41	応用歩行、階段
	42	食事、食形態設定、直接訓練
	43	IADL (調理、買い物、金銭管理、服薬管理、)
	44	入院中のADL設定 (自立度、環境設定)
住環境、福祉用具	45	車椅子選定、シーティング
	46	歩行補助具 (杖、装具)、福祉用具 (尿器、柵、)、) 何ができるかどこに困っているかを症例を通して、対処の例
	47	住環境調整 (段差、手すり、床、バリアがあると大変な感じ) 本当は国に合わせた方がいいが日本の福祉用具の使用
臨床実技実践	48	介助1 (寝返り、起き上がり、移乗)
	49	介助2 (移動、歩行)
	50	基本動作練習1 (寝返り、起き上がり、移乗)
	51	基本動作練習2 (リーチ、上肢・手指)
	52	基本動作練習3 (移動、歩行)
	53	脳卒中例の評価
	54	脳卒中例のプログラム立案、ゴール設定、情報共有、まとめ
	55	脳卒中例の治療
	56	脳卒中例の統合と解釈
	57	物理療法基礎 (温熱刺激、電気刺激、超音波)
物理療法機器	58	遠隔リハ
	59	WILMO、ロボット

# メディカルタイマッサージ師へのリハビリテーション教育カリキュラム案 (保健省への提案内容) (4/4)

## ■ カリキュラム実施スケジュール

まず、基礎的な医療知識を習得済みのタイムメディカルマッサージセラピストから教育を行い、タイマッサージセラピストにリハビリの技術・知識を習得させるための教育コースを作成する。  
その後、教育したタイムメディカルマッサージセラピストを講師とし、タイマッサージセラピストを対象とした教育コースを実施する。



## 第3回 HealthCare Business Discussion – タイ (1/6)

タイ保健省オー上席研究員との定期的な情報交換会（2023年2月20日実施）

出席者：オー上席研究員、松永製作所、Matsunaga Thailand、KAIGO Life、MEJ

### ○コロナ禍でも好調・開国措置後、売上約20%増

- ・特に、予約の必要な治療・サービス（心疾患治療、接骨関連、リハビリ、整形）については堅調。
- ・ 新型コロナは「エンデミック」へ、タイが宣言 22年10月
- ・ コロナパンデミック前の2019年までは、Medical Tourismが主流であったが、コロナエンデミック後は、Medical Wellness Tourismが主軸へ。
- ・ 特に、民間医療機関による発展が目覚ましく、医療プラットフォーム、Precision Medicine、Personal Healthcareにおける分野が大きく成長。
- ・ バンコク都におけるワクチン2回接種率 95%、2回摂取率60%を超え、ハイリスク層への4回目接種を促進中。 <https://www.posttoday.com/social/general/668401>

### ○コロナ禍の徹底した安全管理が助長

- ・ 外国人の予約制度、隔離措置、追跡機能
- ・ 他の業界に比べて堅調

打撃を受けたスパ・マッサージ業界は回復期（帰省した従業員が戻ってこない）

- ・ LGBTQマーケットを拡大予定

## 第3回 HealthCare Business Discussion – タイ (2/6)

### ○ Medical Inbound Tour to Thailand

- ・ 整形、性転換（限定的）などは依然として人気。 欧米留学の医師がインバウンド誘致に寄与

### ○政府指針

- ・ 「Health for Wealth」の方針のもと、医療産業の拡大を目指す。
- ・ EEC（東部経済回廊）と、タイ全国の観光資源を繋ぐ「Wellness Route」を形成。

### ○国立・公立大学病院の発展

- ・ シリラート大学病院やラマ大学病院などが、特別寮棟の建設やTele-medicine（遠隔診察）など、サービスを発展。

### ○地方の健康管理政策「Family Medicine」

- ・ 30バーツ（約120円）による健康診断サービス
- ・ 市町村（地方）への健康管理団の各自宅への派遣（保健省から各自治体へ権利譲渡）
- ・ 必要であれば医師のアポイントメント
- ・ 住宅介護の医療機器は「最低限」揃っているのが現状。
- ・ 格差の大きい地方住民にも、広く提供できるサービスに保健省は取り組んでいる。（例：10バーツ大人用オムツの開発プロジェクト）
- ・ 地方における課題は、メンタルヘルス、入れ歯や差し歯、大人用オムツの普及など。
- ・ （参考）理想的なのは、住民全員が利用できるヘルスチェック機能付きのウェアラブルなど。

## 第3回 HealthCare Business Discussion – タイ (3/6)

### ○Workplace Wellness

- ・ 会社員への無料健康診断
- ・ 日本の「健康経営」
- ・ 在タイ大手日本企業の活動を、専門家（栄養士、心理学者、産業医など）の協力と共にタイ国内（企業）へ広めることができれば、アプローチの方法としては理想的。
- ・ 年一回の健康診断の後、遠隔診察によるフォローアップも行うことができれば効果的。

### ○タイにおけるメディカル機器・ヘルステックは“高度成長期”

- ・ 国内で使う分には問題ないが、最先端機器は不足気味。
- ・ 日本へは専門分野（例：テクノロジー機器、癌治療、特に食道癌など）での協力を期待。
- ・ Vendor Machine (BMI・血圧チェック) の導入
- ・ 中国の大手保険会社がタイ保健省へアプローチ、「平安保険」による無人診療所（自動販売機）で。

### ○「ハード (Hard)」輸入は慎重、積極的に「ソフト(soft)」輸入へ

- ・ タイの文化や価値（Thai-ness）を活かした資源を増やしていきたい。
- ・ 輸入を減らし、自国での生産を増やしていきたい。
- ・ 日本式ビジネスモデルをタイ式へカスタマイズ。  
（日本式リハビリ、健康増進、食事、温泉など）

## 第3回 HealthCare Business Discussion – タイ (4/6)

○タイにおける「メディカル・ウェルネス (Medical Wellness)」とは

- ・以下の4つで構成され、サプライチェーンを構築
  - ①健康増進、②予防、③治療、④リハビリテーション
- ・上記のサプライチェーンを上手に活用している事例がBDMS
- ・温泉、ヨガ、観光などのコンテンツは付加価値となる要素

○美容について

- ・人間に必要な「自分らしさ」「自信」のサポート

○予防について

- ・病院だけでなくクリニックでの健康診断やリハビリテーションを普及させることにより、国民が自身の健康へより簡単にアクセスできるシステムを構築。



## 第3回 HealthCare Business Discussion – タイ (5/6)

### ○日本への期待

- ・ 明確な内容の提案（投資、要請など）
- ・ 高齢者分野において信頼性があるのは日本、イタリア、オーストラリア。後二者は遠く、価格も高いため、日本に期待している。
- ・ 予防に関するテクノロジー発展・指導・コンサルタント

### ○介護

- ・ 介護、日本式のリハビリテーションノウハウなど
- ・ 日本政府の協力で、タイ国民全土（特に格差の激しい地方）への協力プロジェクトが叶えば、国策事業として打ち出しやすい。
- ・ 高齢者向けの栄養食の選択肢も乏しく、日本のノウハウを期待。

### ○テクノロジー

- ・ 医療電子機器（チップ、システムなど）の提供（タイでは組み立て）
- ・ ロボットなどのテクノロジー分野での協力

## 第3回 HealthCare Business Discussion – タイ (6/6)

### ○タイ保健省へのアプローチ

- ・ 2025年大阪万博
- ・ 2028年ブーケット万博

### ○今後

- ・ ニーズの理解、ディスカッションの機会は非常に重要であり、今後も継続的にディスカッションを行う。

## 二次利用未承諾リスト

- 報告書名：タイにおけるリハビリ人材を介した販売拡大実証調査事業

代表団体名：松永製作所

[illegible]